

目 次

目 次	… … …	1
1. 2004(平成16)年度の主な活動	… … …	3
*2004年度の入館者一覧	… … …	4
2. 資料の収集・利用	… … …	5
2-1 資料の収集		
(1) 受 贈		
(2) 購 入		
(3) 寄 託		
2-2 資料の利用	… … …	6
(1) 貸 与		
(2) その他		
3. 展示活動	… … …	7
3-1 常設展示		
(1) 歴史展示(特別陳列/展示替え)		
(2) 美術・工芸展示	… … …	10
(3) 別館展示	… … …	15
3-2 特別展示	… … …	16
(1) 自主企画展		
(2) 共催展等	… … …	18
*2004年度特別展の開催状況一覧	… … …	20
(3) 館外共催事業	… … …	21
(4) 京都府民ギャラリー事業への協力		
3-3 映 画	… … …	22
(1) 常設上映		
(2) 特別企画・共催事業		
(3) 映像ギャラリー常設展示	… … …	23
(4) 京都府映像文化センター運営委員		
4. 調査研究活動	… … …	24
4-1 学芸員の活動		
(1) 博物館研究費による研究		
(2) 外部研究費・共同研究等による研究		
(3) 出講・委嘱		
(4) 学芸員の業績		
5. 普及活動	… … …	27
5-1 出版物		
(1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』		
(2) 京都文化博物館年報		

(3) 展覧会図録			
5-2 講演会・音楽会	...	...	28
(1) 講演会など			
(2) 音楽会	...	...	29
5-3 博物館実習	...	...	30
5-4 その他の活動			
(1) 資料閲覧室			
(2) 文化情報コーナー			
(3) 生涯学習ボランティア			
(4) 京都文化博物館友の会	...	...	31
(5) 地域との連携			
6. ギャラリー事業	...	...	33
6-1 5・6階展示室			
(1) 京都文化財団展示室運営委員会			
(2) 美術・工芸作家の利用			
(3) 生涯学習的発表期間の利用	...	...	34
(4) 一般の利用	...	...	35
6-2 別館ホール			
7. 管理・運営	...	...	37
7-1 経営・企画委員会			
7-2 組織と職員			
(1) 組 織			
(2) 京都文化財団役員	...	...	38
(3) 京都文化博物館職員			
7-3 施 設	...	...	39
(1) 本館関係			
(2) 別館関係			
7-4 ろうじ店舗			
8. 2004 年度のあゆみ	...	...	41

1. 2004（平成 16）年度の主な活動

2003（平成 15）年度、府庁内に設置された「京都文化博物館の活性化検討会」より、京都府知事に対して「京都文化博物館活性化提言」が提出された。この中で外部からの知見を取り入れて「経営・企画委員会」を博物館内に立ち上げ、具体的な取り組みに踏み出すよう求められた。こうした経過をふまえて、2004（平成 16）年 1 月 12 日第 1 回目の「経営・企画委員会」が開催され、活発な議論が重ねられている。いよいよ博物館再生へ向けての本格的な取り組みが始まった。

今年度の自主企画特別展は、9・10 月に「近世京都の狩野派展」を、2・3 月に「古代エジプト文明 3000 年の世界」展を開催した。

「近世京都の狩野派展」は、近年の狩野派再評価の動きに呼応するものであるとともに、“光琳も応挙も蕭白も、みんなはじめは狩野派だった”のコピーによく示されているように、近世絵画の本流という性格にくわえて、日本画史上の多彩な展開に果たした役割を明らかにすることによって、近世京都画壇に新しい光をあてることができた。また、博物館管理資料（府立総合資料館所蔵）の積極的評価、資料の掘り起こしなどにも力を注いだ。

「古代エジプト文明 3000 年の世界」展は国内の名品を一堂に集めるという点で、ユニークな視点を含んだ展覧会であった。日本の経済発展にともなって、貴重な西洋の名画が日本に集まったように、海外における日本の学術調査が盛んになるとともに、エジプト文明に関するコレクションも人知れず豊かなものとなっていった。こうした隠れた日本の文化的蓄積をあらためて共有する機会が作られたという点でも評価されるべき展覧会であった。

入場者は「近世京都の狩野派展」が 25,316 人、「古代エジプト文明 3000 年の世界」展が 49,600 人、7 件の特別展の総入場者数は 235,120 人で、前年を大幅に上回ることができた。ただし、常設展示の入場者数は 55,859 人で前年を下回ったことが惜しまれる。

◇常設展における特別展関連企画の試み その 1・歴史篇「幕末の京都」（6 月 15 日～7 月 11 日）

6 月 5 日から 7 月 19 日まで開催した特別展「新選組」展の関連企画として、2 階の歴史展示特別陳列コーナーで「幕末の京都」を特集した。禁門の変、鳥羽伏見の戦いなどを表す歴史資料により、再び政治の表舞台となった幕末京都の歴史を介して、新選組登場の背景をたどった。

◇常設展における特別展関連企画の試み その 2・歴史篇「エジプト・アコリス遺跡の発掘調査と出土遺物」（2 月 8 日～3 月 13 日）

2 月 2 日から 3 月 21 日まで開催した特別展「古代エジプト文明 3000 年の世界」展の関連企画として、2 階歴史展示特別陳列コーナーで「エジプト・アコリス遺跡の発掘調査と出土遺物」を特集した。同遺跡は王朝時代からギリシャ・ローマ時代にかけての神殿をとまなうナイル川中流の都市遺跡である。京都文化博物館の設立母体の一つであった（財）古代学協会が 1981 年以来調査研究を続けてきたもので、その出土品と発掘風景によってエジプト古代文明の一端を紹介したものである。

◇常設展における特別企画の試み 美術・工芸編 関西現代版画の開拓者と新世代たちの「版画の力」（11 月 6 日～12 月 15 日）

常設展における「特別企画」の試みとして、〈関西現代版画の開拓者と新世代たちの「版画の力」〉を

開催した。大学版画学会の主催により国際会議「国際版画シンポジウム ispa JAPAN」が開催され、東京、京都、名古屋、倉敷で関連事業が行われた。本展は、京都会議の事業として開催されたもの。戦後、関西の現代版画を牽引し豊かな成果をあげた「開拓者」14人と、「新世代」として活動し始めた25人の作品、93点が出品されたほか、シンポジウムも開催された。大学版画学会によりポスター、チラシが作成され、広報につとめた結果、4,200人を超える入場者があった。

2004年度の入館者一覧

(単位：人)

年月	常設展			特別展			計			貸ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
2004.4	3,098	1,570	4,668	4,407	3,127	7,534	7,505	4,697	12,202	3,994	4,506	1,310	9,810	22,012
5	4,673	1,649	6,322	8,794	6,222	15,016	13,467	7,871	21,338	4,427	3,586	240	8,253	29,591
6	2,531	1,366	3,897	28,349	6,853	35,202	30,880	8,219	39,099	1,088	3,788	11,609	16,485	55,584
7	2,535	1,433	3,968	45,255	12,767	58,022	47,790	14,200	61,990	3,773	1,451	790	6,014	68,004
8	3,181	1,244	4,425	10,937	9,799	20,736	14,118	11,043	25,161	2,114	0	650	2,764	27,925
9	2,716	1,297	4,013	8,603	5,914	14,517	11,319	7,211	18,530	3,447	7,010	5,200	15,657	34,187
10	3,509	1,673	5,182	10,755	7,655	18,410	14,264	9,328	23,592	4,387	5,222	1,050	10,659	34,251
11	3,219	3,224	6,443	2,770	3,431	6,201	5,989	6,655	12,644	2,959	11,281	185	14,425	27,069
12	2,556	1,410	3,966	1,882	3,553	5,435	4,438	4,963	9,401	1,759	3,044	370	5,173	14,574
2005.1	2,802	1,702	4,504	1,451	2,996	4,447	4,253	4,698	8,951	4,306	2,637	0	6,943	15,894
2	2,419	1,723	4,142	14,564	6,120	20,684	16,983	7,843	24,826	1,853	5,789	0	7,642	32,468
3	2,712	1,617	4,329	16,086	12,830	28,916	18,798	14,447	33,245	5,212	5,533	0	10,745	43,990
年度計	35,951	19,908	55,859	153,853	81,267	235,120	189,804	101,175	290,979	39,319	53,847	21,404	114,570	405,549
1日平均	117	65	182	666	352	1,018	618	330	948					

2. 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立総合資料館所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料（博物館資料）をいう。これらの

資料については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を総合資料館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行うとともに、収集・利用等についても、その業務を当館で行っている。

なお、2004年度末での管理資料は51,011点、寄託資料が339点、一時保管資料が622点であった。

2-1 資料の収集

(1) 受 贈

①管理資料

分 野	作 者	資 料 名	点数		分 野	作 者	資 料 名	点数	
人 形	新井喜世	御所人形「菊寿」	1		日本画	塩川文麟	桃花山水図	2	
洋 画	関根勢之助	「A. ランボー 詩文より 砂・肖像」ほか	4		染 織	碓井清輝	刺繍掛軸「牡丹図」	1	
染 織	宮崎芳郎	「磯」ほか	3		民具・歴史		ミシン ほか	10	
日本画	山本知克	「窓の風景」	1		日本画	西嶋豊彦	「月と太陽」	1	
					陶・芸	清水卯一	「海鼠釉貼花壺」ほか	46	
								小計	9件 69点

(2) 購 入

種 別	分 野	作 者	資 料 名	点数
管理資料	陶 芸		古清水基盤形水滴	1点
				小計 1件 1点

(3) 寄 託

種 別	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	小計
館資料	日 本 画	1件 1点	典 籍	20件 233点	貴重遺物	83件 501点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	152件 790点
	古 文 書	23件 24点	絵 図	18件 20点	一般遺物	2件 6点	複製模本	1件 1点			
管理資料	日 本 画	6件 17点	陶 器	1件 89点	民 俗	3件 221点	武 具	1件 4点	染 織	1件 1点	12件 332点

2-2 資料の利用

(1) 貸 与

①館資料

分 野	資 料 名	点数	申 請 者	使用目的（展覧会名）
歴 史	誓願寺門前図屏風	1 件	千葉市美術館	伝説の浮世絵開祖 岩佐又兵衛
模 型	元禄期四糸河原芝居復元模型	1 点	大阪府立狭山池博物館	近世を開いた土木技術
考 古	石亀遺跡出土縄文土器	11 点	徳島県立博物館	縄文の美 亀ヶ岡文化の世界
考 古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2 点	吹田市立博物館	常設展示
考 古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2 点	向日市文化資料館	常設展示
計 5 件 17 点				

②管理資料

分 野	資 料 名	点数	申 請 者	使用目的（展覧会名）
日本画 洋画、版画	西村光人「野辺」ほか	24	京都府府民労働部文化芸術室	庁内展示
染 織	玉子色麻地湊取薊楓文様友禅帷子	1	MOA美術館	「光琳デザイン」展
歴 史	袈裟褌文銅鐸ほか	4	京都府立山城郷土資料館	「京都府南部の弥生時代」
金 工	斎田梅亭「截金交菱文節篋」ほか	2	朝日新聞社事業本部長	「わざと美」展
日本画	三橋節子「野草」ほか	5	思文閣美術館	「夭折の画家 三橋節子回顧展 一湖の伝説シリーズから30年」展
日本画	三橋節子「裏山の収穫」	1	思文閣美術館	〃
寄託資料	狩野元信「鞍馬図絵馬」	1	京都国立博物館	「神々の美の世界」展
日本画	祇園井特「島原太夫図」ほか	7	京都市美術館	「新説・京美人」展
日本画	祇園井特「歌妓図」	1	川崎市市民ミュージアム	「21世紀の本居宣長」展
日本画	小野竹喬「はざまの道」	1	府中市美術館	「牛島憲之と昭和前期の絵画」展
日本画	岡本春暉「岩佐又兵衛」ほか	2	千葉市美術館	「伝説の浮世絵開祖 岩佐又兵衛 人は彼を「うきよ又兵衛」と呼んだー」展
洋 画	和田三造「薔」	1	兵庫県立円山川公苑	「白瀧幾之助・和田三造・青山熊治」展
日本画	山口華楊「白鷺」	1	華鶴美術館	「京都の心・自然へのまなざし ～近代花鳥画をリードした京都の画家たち～」展
楽 器	大正琴ほか	14	大分市歴史資料館	「古の響きー時代を彩った楽器」展
日本画	渡辺省亭「伊賀の局と天狗」ほか	2	下関市立美術館	「日本絵画・20世紀の草創」展
陶 芸	三代清水六兵衛「白磁龍文花瓶」ほか	26	千葉市美術館	「清水六兵衛歴代展 京の陶芸ー伝統と革新」展
陶 芸	大田垣蓮月「大津絵賛徳利」ほか	3	千葉市美術館	「清水六兵衛歴代展 京の陶芸ー伝統と革新」展
日本画	土佐光貞「紙雛図」ほか	2	板橋区立美術館	「御長壽美術展」展
染 織	細見華岳「綴帯 春花」ほか	2	細見華岳	京都市文化功労者記録保存事業において ビデオテープに収録のため
日本画	幸野樸嶺「妓女図」	1	東京都庭園美術館	「近代日本と装身具」
民 具	唐箕	2	横浜市歴史博物館	「米づくりの道具たち」展
染織・陶芸	幹山伝七「染付草花模様小水差」ほか	28	京都府立総合資料館	「京の商い～ 「京」ブランドの今むかし」展
日本画	露木石門「花鳥図屏風」	1	府中市美術館	「百花の絵ー館蔵の江戸時代絵画と関連の優品」展
日本画	粟本一洋「壬生狂言の楽屋」ほか	2	名都美術館	「王朝文化 大和絵の世界ー粟本一洋」展
洋 画	向井潤吉「奥多摩春景」ほか	22	八幡市立松花堂美術館	「向井潤吉」展
合計 26件 157点				

(2) その他

種 別	撮影	特別観覧	寄託資料一時持ち出し					
			分 野	資 料 名	点 数	申 請 者	使用目的	計
館 資 料	1件 1点	7件	考 古	デンマーク石器コレクション	21 点	古代学協会	研 究	1 件 21 点
管 理 資 料	45件160点	18件179点	民 俗	鞍馬火祭り資料	4 点	鞍馬火祭保存会	祭 礼	1 件 4 点

3. 展示活動

3-1 常設展示

(1) 歴史展示

歴史の常設展示は、大きく二つの部分に分けられる。一つは京都の町の歴史の概観的な展示で、平安京以前の京都盆地の姿を示すプロローグに始まり、平安京の誕生から明治・大正までを四つのテーマに分けて展開する。

いま一つは、ある時間的な幅のなかでは位置づけることのできない文化事象から、町衆によって育まれてきた京都文化を代表する四つのテーマを選んで展示する集中展示であり、あわせてそれらが繰り広げられた場としての京都を絵画資料に見るものである。

この歴史の常設展示は、模型や映像・図表を中心に説明的に展開することを原則としているため、実物資料が大変少ない展示となっており、時折不満の声も聞かれた。その欠を補うという意図もあって、2001年度から歴史展示室の北端に展示ケースを新設して、新たに「特別陳列コーナー」を設けた。ここでは、一定のテーマを設定し、ふさわしい資料を主として館蔵資料と寄託資料の中から選んで展示している。

「特別陳列コーナー」の設置に伴い、スペースの都合上、「国際都市京都」のコーナーと「歴史情報サービス」とは廃止した。それ以外の展示は基本的には大きな変化はないので、ここでは展示替えに関するデータのみを記す。概観展示ならびに集中展示の詳細については『京都文化博物館 10 年のあゆみ』（1999 年）を参照されたい。

①特別陳列コーナー

◇朝鮮通信使－江戸時代 日本への友好使節－

概要：朝鮮通信使は、朝鮮国王が国書を交わすために江戸幕府に派遣した使節で、江戸時代に 12 回来日した。300 人から 500 人にのぼる一行は、対馬から瀬戸内、京都を経て江戸に至った。朝鮮・日本側ともに多大の経費と労力をかけて準備と接待を行い、日朝の文化交流の上で大きな役割を果たした。この展示では、日本と朝鮮との善隣友好の掛け橋となった朝鮮通信使の足跡を辿った。

期 間：2004 年 4 月 6 日～5 月 9 日

作 品：「浮絵 朝鮮人行列見立」、「朝鮮国使日録」、「朝鮮通信使関係文書」、「唐人土人形」など 11 点

担 当：大塚活美

◇近代初頭の京都

概要：明治維新を迎えた京都は、天皇・公家・武家などのほとんどすべてが江戸（東京）に立ち去ったため、人口が減少し、経済も衰退した。その中で、町衆の協力を得て、京都府の主導により、小学校・中学校の設置、舎密局の開設、新京極通の整備などの復興策が行われた。そして、近代初頭の歴史が始まった。

期 間：2004 年 5 月 11 日～6 月 13 日

作 品：森寛斎「京都名所四季図」、『都の魁』、「舎密局門標」、明倫小学校模型など 13 点

担 当：大塚活美

◇新選組展関連企画 幕末の京都

概要：江戸時代末、米・露等の列強による日本進出を契機に、江戸幕府は尊皇攘夷などを唱える諸勢力に対抗した政治体制を模索する。その過程で京都は 260 年ぶりに政治の舞台になる。「新選組」もこの時代の流れで生まれた。展示では各事件を描いた作品で幕末の京都の歴史を辿った。

期 間：2004 年 6 月 15 日～7 月 11 日

作 品：「京都御所図」、「淀川合戦見聞奇談」、「異国船渡来次第」、など 13 点

担 当：大塚活美

◇京の鏡造り

概要：鏡は、ガラス製品が一般的になる明治時代以前は銅合金の金属で作られていた。鏡は古くは権威の象徴でもあったが、江戸時代には庶民生活の中にも広く普及している。鏡は姿を映す実用品というだけでなく、背面に様々な文様を施した工芸品でもある。展示では、京都で生産された江戸時代の鏡

類と、京都市内の発掘調査で出土した室町時代と江戸時代の鏡の鑄造関係遺物を展示した。

期 間：2004 年 7 月 13 日～10 月 11 日

作 品：柄鏡類 19 点、鏡鑄型・ルツボなど約 60 点

担 当：植山 茂

◇源氏物語に見える王朝文学

概 要：『源氏物語』は、11 世紀初頭に完成され、同時代に書かれた清少納言の『枕草子』とともに、王朝文学の傑作として知られている。作者の紫式部は『源氏物語』を書くに当たって、当時に流布していた文学作品をかなり読み、それを『源氏物語の中にも登場させている。展示では、『源氏物語』の中に見える文学作品を紹介し、一部の文学作品の写本を展示した。

期 間：2004 年 10 月 13 日～11 月 14 日

作 品：『大島本源氏物語』『紫式部集』など 11 点

担 当：土橋 誠

◇仮名手本忠臣蔵の世界

概 要：忠臣蔵は、年末の恒例行事のようにドラマや映画が上映されているが、元の事件は元禄年間に江戸城中で起こった刃傷事件に端を発する。仮名手本忠臣蔵は、赤穂浪士による討ち入りから約 50 年以上を経て作られた話であり、時代を室町時代に移したり、様々なフィクションを加えて構成された。元は人形浄瑠璃として上演されたが、現在では歌舞伎の演目として不動の地位を占めている。

期 間：2004 年 11 月 16 日～12 月 19 日

作 品：長谷川貞信「仮名手本忠臣蔵」（大序～十二段目）、「大石良雄肖像」、「大石良雄室肖像」。計 14 点

担 当：土橋 誠

◇泥絵にみる幕末の日本

概 要：泥絵は安価な泥絵具を使った絵画で、人物が極端に簡略化され、遠近法により描かれている。江戸時代後期に西洋画の影響を受けて生まれた。江戸城周辺の大名屋敷や江戸近郊の名所を描いた作品が多く、土産品

として求められた。展示では、江戸・箱根・長崎などを描いた泥絵で、幕末期の日本の風景を紹介した。

期 間：2004 年 12 月 21 日～2005 年 1 月 16 日

作 品：「大名屋敷と門松」、「琉球使節」、「サインのある泥絵」、「浅草観音」、「長崎の出島」など 14 点

担 当：大塚活美

◇街道資料と広重の東海道五十三次

概 要：江戸時代は伊勢参りや湯治など、庶民の旅が盛んになった時代で、街道や宿駅が整備され、一定の条件下ではあったが、旅を楽しむことができた。江戸と京都を結ぶ東海道は、慶長 8 年（1603）に整備され、江戸時代後期の浮世絵師歌川広重が 55 枚の風景画を描いたことで知られている。展示では、広重の浮世絵や旅に関する資料を挙げた。

期 間：2005 年 1 月 18 日～2 月 6 日

作 品：振分行李、道中薬入、宿札、東海道五十三次双六、歌川広重「東海道五十三次」など 29 点

担 当：大塚活美

◇「古代エジプト文明 3000 年の世界」展関連企画 エジプト・アコリス遺跡の発掘調査と出土遺物

概 要：1981 年 9 月にナイル川中流域のアコリス遺跡の発掘調査が実施され、エジプト古王国時代の岩窟神殿を中心に、ギリシャ・ローマ時代の都市遺跡やイスラム時代にわたる遺構・遺物が見つかった。展示では、エジプト政府から当時の調査主体の（財）古代学協会に寄贈された資料を展示し、調査の様子を紹介した。

期 間：2005 年 2 月 8 日～3 月 13 日

作 品：土器・銅製品・ガラス製品ほか

担 当：南 博史

◇平安宮の鬼瓦

概 要：1965 年の平安宮朝堂院跡の発掘調査で多くの大型鬼瓦が出土した。これらの鬼瓦は型造りの通例のものとは異なり、1 点ずつ粘土を盛り上げて製作されている。出土地

点からみてこの大型鬼瓦は、ある時期の大極殿の屋根を飾っていたことが想定される。この他、平安宮跡の各所から出土した鬼瓦も展示した。

期 間：2005 年 3 月 15 日（火）～6 月 12 日（日）

作 品：平安宮朝堂院跡出土例など平安時代の鬼瓦 19 点

担 当：植山 茂



2004 年 7 月 集中展示「表装」（2 階常設展示室）

②展示替え（概観展示・集中展示）

展示テーマ	展示項目	資 料 名	点数	展示期間
武者の世に	京に集う	茶器一式（出土品）	8	2003. 6.17～
京洛四季	京の商い	看板（2 点）・売薬手提箱・五合杓・一升杓・糸秤（*）	6	2003.10.21～2004. 4.18
		看板・暖簾・算盤箱・一斗杓・天秤（*）	5	2004. 4.20～2004.10.17
		煙草入屋看板・生掛屋看板・売薬手提箱五合杓・一升杓・糸秤	6	2004.10.19～2005. 4.17
古都飛翔	明治の洋食器	染付草花模様蓋付スープ鉢（幹山伝七作）/ 染付四季花卉模様スープ皿（2 点 / 三代清風与平作）/ 染付草花模様ソース鉢（和氣亭亭作）/ 染付草花模様蓋付肉皿・染付草花模様小判形皿・染付草花模様台付盛皿（以上、幹山伝七作）（*）	7	2004. 1.20～2004. 4.18
		染付草花模様水差（幹山伝七作）/ 染付草花模様紅茶碗（2 点 / 三代清風与平作）/ 染付草花模様皿（2 点 / 四代高橋道八作）/ 染付草花模様蓋付水鉢 / 染付草花模様砂糖入 / 染付草花模様台付盛皿（以上、幹山伝七作）（*）	8	2004. 4.20～2004. 7.19
		染付草花模様水差（幹山伝七作）/ 染付草花模様紅茶碗（2 点 / 三代清風与平作）/ 染付草花模様皿（2 点 / 四代高橋道八作）/ 染付草花模様蓋付水鉢・染付草花模様砂糖入・染付草花模様台付盛皿（以上、幹山伝七作）（*）	8	2004. 7.21～2004.10.17
		染付草花模様水差（幹山伝七作）/ 染付草花模様紅茶碗（2 点 / 三代清風与平作）/ 染付ブドー酒呑（5 点 / 和氣亭亭作）/ 染付草花模様砂糖入・染付草花模様台付盛皿（以上、幹山伝七作）/ 染付花卉模様肉皿（三代清水六兵衛作）（*）	12	2004.10.19～ 2005. 1.16
		染付草花模様蓋付スープ鉢（幹山伝七作）/ 染付草花模様皿（2 点 / 四代高橋道八作）/ 染付草花模様台付盛皿・染付草花模様蓋付水鉢・染付草花模様スープ皿（2 点）・染付草花模様台付盛皿（以上、幹山伝七作）（*）	8	2005. 1.18～2005. 4.17
集中展示	宗家の地	琴の家－琴 琵琶・源氏物語絵巻（複製）（* / **）	2	2004. 3.16～2004. 6.20
		和歌の家－冷泉家七夕色紙・藤原氏系図・角壺（** / *）	3	2004. 6.22～2004. 9.19
		琵琶の家－琴 琵琶・源氏物語絵巻（複製）（** / *）	2	2004. 9.21～2004.12.19
		蹴鞠の家－蹴鞠他（3 点）・関係写本（4 件）（* / **）	7	2004.12.21～2005. 3.13
		香道－香炉・香道具・競馬香道具・十種香之記・図書「十種香」（*）	5	2005. 3.15～2005. 6.19
	能と狂言	天人揃葛扇・紺地蝶丸文様鬘帶・赤地菊文様鬘帶・牡丹唐草文様腰帶忍草御所車文様腰帶（協力：金剛家）	5	2004. 3.16～2004. 6.20
		狂言面－武悪・白蔵主・塗師（協力：茂山家）	3	2004. 6.22～2004. 9.19
		納戸地鷲唐草文様鬘帶・赤地雛二撫子文様鬘帶・胴箔地秋草文様腰帶紺地雨龍文様腰帶・西王母人物画葛扇裏小柴垣二菊之図（協力：金剛家）	5	2004. 9.21～2004.12.19
		狂言面－福の神・白武悪・鬼ヶ宿（協力：茂山家）	3	2004.12.21～2005. 3.13
		西王母人物画葛扇・鳳凰文鬘帶・糸巻文鬘帶・花丸文腰帶・呂指道成寺鱗文腰帶（協力：金剛家）	5	2005. 3.15～2005. 6.19
	匠の世界	漆塗－漆塗り道具・製品など（協力：平尾伝右衛門）	一式	2003.12. 2～2004. 7. 4
		表装（協力：宇佐美松鶴堂）	一式	2004. 7. 6～2005. 2.20
		仏像（協力：仏光堂）	一式	2005. 2.22～2005. 8. 7
	京のまつり	祇園祭月鉾模型・扇（*）	2	2004. 3.16～2004. 6.20
		都名所図絵（**）	1	2004. 4.28～2004. 5.16
		祇園祭長刀鉾模型（**）	1	2004. 6.22～2004. 9.19
		牛祭 牛祭面（* / **）	10	2004. 9.21～2004.12.19

展示テーマ	展示項目	資料名	点数	展示期間
		祇園祭月鉾模型 (**)	2	2004.12.21~2005.3.13
		祇園祭月鉾模型、扇 (**)	2	2005.3.15~2005.6.19

※ () 内の*印の資料は京都府立総合資料館蔵(京都府京都文化博物館管理)、**印の資料は当館蔵

(2) 美術・工芸展示

◇京都の美術・工芸展 庭園の名画をめぐるー京都府

所蔵「京の百景」「京の四季」からー

概要:平安建都1200年記念協会が主催する「京都・庭園散策ー岡崎ー」の協賛事業として開催。

「京の百景」「京の四季」から、庭園にまつわる作品を展示。

期間:2004年4月10日(土)~5月23日(日)

作品:日本画41点、洋画13点

[通期] 4月10日(土)~5月23日(日)

分野	資料名	作者名	分類	作品No.	分野	資料名	作者名	分類	作品No.
日本画	金閣冬日	高越 甚	「京の四季」 *5月7日から展示	1	洋画	京の茶室	酒見 恒平	「京の四季」	127
日本画	金閣寺	山崎 忠明	「京の百景」	50	洋画	青蓮院 (新緑木洩れ日)	進藤 博子	「京の四季」	158
日本画	光悦寺の萩	木下 章	「京の四季」	4	日本画	青蓮院の老木	山口 華楊	「京の百景」	64
日本画	光悦寺	金島 桂華	「京の百景」	51	洋画	三門雪景ー知恩院ー	高井 道夫	「京の四季」	159
洋画	大仙院の石庭(盛砂)	小牧源太郎	「京の四季」	6	日本画	円山のしだれ桜	武藤 彰	「京の四季」	161
日本画	龍安寺	武藤 彰	「京の百景」	35	日本画	円山公園(しだれ桜)	大野藤三郎	「京の百景」	65
日本画	御室	濱田 観	「京の百景」	32	日本画	東福寺(通天橋)	松尾 冬青	「京の百景」	81
日本画	大澤池	堂本 元次	「京の百景」	29	日本画	高台寺界隈	上村 淳之	「京の百景」	69
日本画	大沢夕月	川島 浩	「京の四季」	85	日本画	二条城緑雨	大野 俊明	「京の四季」	114
日本画	宴のあと(大覚寺)	新井富美郎	「京の四季」	84	日本画	二条城	白倉 嘉入	「京の百景」	4
洋画	新緑の高山寺	島戸 繁	「京の四季」	61	日本画	神泉苑	岩本 周熙	「京の四季」	115
日本画	祇王寺	野々内良樹	「京の百景」	39	日本画	桂離宮(笑意軒)	三輪 晃勢	「京の百景」	38
日本画	三千院	山本 知克	「京の百景」	53	日本画	苔寺	堂本 印象	「京の百景」	36
洋画	円通寺の雪庭	富士 一男	「京の四季」	15	日本画	西芳寺林泉	下川 千秋	「京の四季」	92
日本画	宝ヶ池	池田 道夫	「京の百景」	43	日本画	春の洛西竹林公園	芦田 裕昭	「京の四季」	97
洋画	詩仙堂	野嶋 佳浩	「京の四季」	38	日本画	勧修寺(睡蓮の池)	高田 淑子	「京の四季」	182
日本画	修学院離宮	三輪 晃久	「京の百景」	52	洋画	西本願寺飛雲閣暮色	殿南 照賢	「京の四季」	123
日本画	修学院離宮	河合 健二	「京の四季」	35	日本画	平等院鳳凰堂	橋田 二郎	「京の四季」	219
日本画	植物園	下川 千秋	「京の百景」	73	日本画	平等院	松元 道夫	「京の百景」	90
日本画	植物園月明	池田 道夫	「京の四季」	42	日本画	早春の一休寺	竹村 掬二	「京の四季」	226
洋画	比叡山新緑 (府立植物園より)	山田 新一	「京の四季」	43	日本画	長岡天神(つつじ)	岸田 喬坪	「京の百景」	86
洋画	早春の植物園	福嶋淳志郎	「京の四季」	44	日本画	浄瑠璃寺	水野 深草	「京の百景」	89
洋画	糺の森	奥井 章夫	「京の四季」	47	洋画	浄瑠璃寺	岩田 順三	「京の四季」	231
日本画	糺の森	稲田 和正	「京の四季」	49	洋画	西光寺庭園	伊庭新太郎	「京の四季」	265
日本画	平安神宮	秋野 不矩	「京の百景」	67	日本画	常照皇寺(御車返)	渡辺 信喜	「京の四季」	246
日本画	銀閣寺	池田 栄廣	「京の百景」	66	日本画	常照皇寺の桜	真道 黎明	「京の百景」	98
日本画	月光銀閣	山崎 忠明	「京の四季」	50	日本画	天橋立	岩澤 重夫	「京の百景」	108

* 「京の百景」は京都府立総合資料館蔵(京都文化博物館管理)
「京の四季」は京都府蔵

◇京都の美術・工芸展《京都府所蔵品にみる 香炉と香合》

概 要：京都府が所蔵する陶磁器と金工の作品のなかから、香炉と香合を紹介。

期 間：2004年4月10日（土）～5月23日（日）

作 品：陶磁器42点、金工2点

分 野	資料名	作者名	制作年	分 野	資料名	作者名	制作年
陶磁器	桃山城瓦模様香合	仁阿弥道八	江戸時代	陶磁器	雞鳥香合	五代清水六兵衛	大正15年
陶磁器	色絵金彩唐人図三足香炉	九代常山与兵衛	明治時代中期	陶磁器	色絵鴛鴦香炉	五代清水六兵衛	昭和3年
陶磁器	色絵象香炉	道林俊正	昭和20年代初	陶磁器	青磁高御座香炉	五代清水六兵衛	昭和3年
陶磁器	龍乗り観音香炉	高山泰造	昭和38年	陶磁器	紫染冠香炉	五代清水六兵衛	昭和3年
陶磁器	青華香炉	叶 光夫	昭和15年	陶磁器	紫染冠香合	五代清水六兵衛	昭和3年
陶磁器	白瓷刻花香炉	叶 光夫	昭和38年	陶磁器	白泐朝顔香炉	五代清水六兵衛	昭和4年
陶磁器	華文桃香炉	浅見 隆三	昭和24年	陶磁器	呉須赤絵香合	五代清水六兵衛	昭和4年
陶磁器	染付四方香合	浅見 隆三	昭和27年	陶磁器	反紅香合	五代清水六兵衛	昭和6年
陶磁器	大礼磁鳳凰文香炉	五代清水六兵衛	大正5年	陶磁器	高砂（刷と焼）香合	五代清水六兵衛	昭和10年
陶磁器	交趾鹿香合	五代清水六兵衛	大正6年	陶磁器	蛇の目傘香合	五代清水六兵衛	昭和12年
陶磁器	三彩靈獣文香炉	五代清水六兵衛	大正8年	陶磁器	飛泐香合	五代清水六兵衛	昭和12年
陶磁器	大礼磁秋海棠香合	五代清水六兵衛	大正9年	陶磁器	青磁耳付香炉	五代清水六兵衛	昭和14年
陶磁器	青華四方香合	五代清水六兵衛	大正11年	陶磁器	青磁三足香炉	五代清水六兵衛	昭和14年
陶磁器	青華松竹梅香合	五代清水六兵衛	大正11年	陶磁器	色絵尾長鶏香合	五代清水六兵衛	昭和17年
陶磁器	色絵宇津の山香合	五代清水六兵衛	大正12年	陶磁器	掛分葛家香合	五代清水六兵衛	昭和19年
陶磁器	色絵糸巻香合	五代清水六兵衛	大正12年	陶磁器	三彩四方香炉	六代清水六兵衛	昭和25年
陶磁器	青華鯉香合	五代清水六兵衛	大正13年	陶磁器	染付騎馬文香炉	六代清水六兵衛	昭和25年
陶磁器	青華梅花香合	五代清水六兵衛	大正13年	陶磁器	色絵松竹梅香炉	六代清水六兵衛	昭和26年
陶磁器	青華茄子兜香合	五代清水六兵衛	大正13年	陶磁器	金彩刻文香炉	六代清水六兵衛	昭和53年
陶磁器	色絵丹頂鶴香合	五代清水六兵衛	大正14年	陶磁器	亀香合	大田垣 運月	江戸末～明治時代
陶磁器	色絵翡翠香合	五代清水六兵衛	大正14年	金 工	鉄象嵌香炉	小林尚珉	昭和52年
陶磁器	雀香合	五代清水六兵衛	大正15年	金 工	銀製 白孔雀香炉	加藤宗蔵	昭和58年

*すべて京都府立総合資料館蔵（京都文化博物館管理）

◇京都の美術・工芸展 関西現代版画の開拓者と新世代たちの「版画の力」

概 要：大学版画学会主催の「国際版画シンポジウム ispa JAPAN」京都会議の事業として開催。戦後の現代版画の開拓者14人と

新世代25人の作品を展示。

期 間：2004年11月6日（土）～12月15日（水）

作 品：93点

シンポジウム：11月27日（土）「西の版画的独自性」

[通期] 〈11月6日（土）～12月15日（水）〉

分 野	資料名	作者名	製作年	分 野	資料名	作者名	製作年
版 画	インディアン	泉 茂	1956年	版 画	untitled	西 真	1987年
版 画	井戸の中のブルースワンのNo.1	井田照一	1990年	版 画	ANALOGY	松井 裕	1971年
版 画	color colseption No.160 GREEN & ORANGE	大原雄寛	1980年	版 画	オフィス〈蝶〉	舞原克典	1999年
版 画	現在位置 - 存在	木村光佑	1970年	版 画	顔	森 泰	1960年
版 画	失われた楽園3	黒崎 彰	1972年	版 画	Litograph-37〔バカンス〕	中山嘉一	1958年
版 画	AIR-PACK/M and M's	中馬泰文	1993年	版 画	冬の旅	三好・シメイ	1971年
版 画	ISEKI / PYXXXII	長岡国人	1983年	版 画	シーズン1	吉原英雄	1968年

分野	資料名	作者名	製作年	分野	資料名	作者名	製作年
版画	Existence -Level	石川晃司	2002年	版画	cascade	竹崎勝代	2004年
版画	lift(scene I)	入谷葉子	2004年	版画	cascade	竹崎勝代	2004年
版画	lift(scene III)	入谷葉子	2004年	版画	cascade	竹崎勝代	2004年
版画	boarding bridge II	入谷葉子	2004年	版画	drop	竹崎勝代	2004年
版画	boarding bridge -work I	入谷葉子	2004年	版画	untitled # 04-07	豊富春菜	2004年
版画	untitled 04-12	岩谷由愛	2004年	版画	untitled # 04-08	豊富春菜	2004年
版画	untitled 04-13	岩谷由愛	2004年	版画	untitled # 04-09	豊富春菜	2004年
版画	Skin holeproject 2002-2004	大崎のぶゆき	2002~2004年	版画	祈りの言葉 2004-6(plate)	内藤編子	2004年
版画	owan	大西伸明	2004年	版画	祈りの言葉 2004-6(print)	内藤編子	2004年
版画	denkyuu	大西伸明	2004年	版画	鳥 1	中山恵美	2004年
版画	tamagopakku	大西伸明	2004年	版画	鳥 2	中山恵美	2004年
版画	katorisenkou	大西伸明	2004年	版画	鳥 3	中山恵美	2004年
版画	arumiyouki	大西伸明	2004年	版画	stripper # 17	馬場晋作	2004年
版画	koppu	大西伸明	2004年	版画	stripper # 18	馬場晋作	2004年
版画	今朝みた 5つの夢 I	小山田匡範	2004年	版画	Paints of glass	馬場晋作	2004年
版画	今朝みた 5つの夢 II	小山田匡範	2004年	版画	「H・H-0326」	福森優太	2004年
版画	今朝みた 5つの夢 IV	小山田匡範	2004年	版画	「H・H-0327」	福森優太	2004年
版画	STAR XIII	北野裕之	2004年	版画	「H・H-0328」	福森優太	2004年
版画	STAR XIV	北野裕之	2004年	版画	untitled'04-15	政木貴子	2004年
版画	STAR XV	北野裕之	2004年	版画	untitled'04-16	政木貴子	2004年
版画	STAR XVI	北野裕之	2004年	版画	untitled'04-17	政木貴子	2004年
版画	STAR XI	北野裕之	2004年	版画	untitled'04-18	政木貴子	2004年
版画	STAR XII	北野裕之	2004年	版画	drop of water	松居邦明	2004年
版画	Notes of monogrammed pattern	黒木美希	2004年	版画	Skin of the KE(Type040807)	松浦孝之	2004年
版画	文様の譜 2004/II- # 5			版画	Skin of the KE(Type040903)	松浦孝之	2004年
版画	Notes of monogrammed pattern	黒木美希	2004年	版画	Skin of the KE(Type040921)	松浦孝之	2004年
版画	文様の譜 2004/VI- # 5			版画	Skin of the KE(Type040924)	松浦孝之	2004年
版画	Notes of monogrammed pattern	黒木美希	2004年	版画	Skin of the KE(Type041003)	松浦孝之	2004年
版画	文様の譜 2004/IX- # 5			版画	Skin of the KE(Type041015)	松浦孝之	2004年
版画	accumulation	児玉太一	2004年	版画	求愛行動	みやじけいこ	2002年
版画	accumulation	児玉太一	2004年	版画	作品集	三宅砂織	2002~2004年
版画	Lluna plena -04'XXIV	坂井淳二	2004年	版画	MURAIMIMI works	村井美々	2002~2004年
版画	Lluna plena -04'XXV	坂井淳二	2004年		①空耳リズム②タヌ☆きのこ③春眠マクラ④きのこまつり⑤世界交通⑥白昼夢⑦初鯉の味⑧箱入りの猫⑨七色		
版画	Lluna plena -04'XXVI	坂井淳二	2004年				
版画	Lluna plena -04'XXVII	坂井淳二	2004年				
版画	hill,laundry.hill	坂本恭子	2004年	版画	MURAIMIMI works	村井美々	2004年
版画	paint.soda.c-box	坂本恭子	2004年		①発行パンダ②はず③はな血④はなどり⑤あともう少し⑥イカロケット⑦カーテン⑧きのこ⑨くじゃく⑩まつぼっくり⑪みかん⑫ねこ⑬にじ⑭おにぎり⑮りんご⑯さくら⑰ぞうじ⑱うま⑲うに⑳ゼリー		
版画	roll.gauze.water	坂本恭子	2004年				
版画	rice cake.view.tour	坂本恭子	2004年				
版画	告別式キットー祈りー	集治千晶	2004年	版画	Red like raw meat 1	森 顕治	2004年
版画	告別式キットー祭壇ー	集治千晶	2004年	版画	Red like raw meat 2	森 顕治	2004年
版画	告別式キットー蓮ー	集治千晶	2004年	版画	Red like raw meat 3	森 顕治	2004年
版画	告別式キットー壺ー	集治千晶	2004年				
版画	告別式キットー魂ー	集治千晶	2004年				
版画	cascade	竹崎勝代	2004年				
版画	cascade	竹崎勝代	2004年				

◇京都の美術・工芸展 池大雅と京都府所蔵の日本画・

洋画・書

概要：江戸時代を代表する文人画家・池大雅の書画と、京都府所蔵の美術から「冬」をテーマとする作品およびモノクロームの作品を

紹介

期間：2004年12月18日（土）～2005年2月13日（日）

作品：日本画 47点、洋画 5点、書 4点

分野	資料名	作者名	制作年	備考
日本画	金山	池 大雅	享保 10 年	
日本画	獨樂園之記	池 大雅	享保 19 年	
日本画	考工記図解	池 大雅	延享 2 年	
日本画	天産奇葩図巻	池 大雅	寛延 2 年	池大雅美術館蔵
日本画	高士訪隠図屏風	池 大雅	寛延 3 年	
日本画	墨竹図（指墨）	池 大雅	江戸時代後期	池大雅美術館蔵
日本画	蕙石図（指墨）	池 大雅	江戸時代後期	
日本画	柳下羣子図屏風【重要文化財】	池 大雅	江戸時代後期	
日本画	般若心経	池 大雅	江戸時代後期	
日本画	夏景山水図	池 大雅	明和 8 年	
日本画	和様尺讀文範	池 大雅	安永 2 年	池大雅美術館蔵
日本画	王維「送沈子福之江東」	池 大雅	江戸時代後期	
日本画	瘦肩吾「芝草之詩」	池 大雅	江戸時代後期	
日本画	和歌「桜」	池 大雅	江戸時代後期	
日本画	「詠松避年友和歌」懷紙	池 大雅	江戸時代後期	
日本画	書簡（あさり貝札状）	池 大雅	江戸時代後期	
日本画	書簡（軒号宜春のすすめ）	池 大雅	江戸時代後期	
日本画	書簡（新春慶賀）	池 大雅	江戸時代後期	
日本画	書簡（伊勢源兵衛宛）	池 大雅	江戸時代後期	
日本画	池大雅肖像	月 峰	江戸時代後期	
日本画	池大雅居室図	野呂 介石	寛政 4 年	
日本画	杲堂之偈	杲堂 元昶	享保 14 年	
日本画	大雅堂扁額		江戸時代	池大雅美術館蔵
日本画	如意輪観世音坐像			
日本画	大雅五十歳 歳旦手形木版画		江戸時代	池大雅美術館蔵
日本画	遼棚		江戸時代後期	
日本画	初冬	秋野 不矩	昭和 56	
日本画	京の家並みと横丁	磯田又一郎	昭和 48	
日本画	明けゆく比良	金島 桂華	昭和 46	金島靖氏寄贈
日本画	妙高	河合 健二	昭和 55	
日本画	すぐき漬風景	佐藤 晴行	昭和 48	
日本画	雪の村	高越 基	昭和 44	
日本画	冬田	中路 融人	昭和 49	
日本画	伊根の船家	橋田 二郎	昭和 48	
日本画	雪映白鳥	福田 翠光	昭和 3	福田特雄氏寄贈
日本画	雪霽	山本 倉丘	昭和 7	
日本画	雪の日の東京駅	山本 知克	昭和 54	
洋 画	雪後	黒田重太郎	大正 14	黒田暢氏寄贈
洋 画	霧氷	津田 周平	昭和 58	津田トシ氏寄贈
洋 画	下山雪後	向井 潤吉	昭和 44	
洋 画	洛北暮雪	向井 潤吉	昭和 45	
洋 画	氷雨の大内宿	向井 潤吉	昭和 46	
洋 画	廃船のある風景	中村 善種	昭和 53	
日本画	白鷺	岡村宇太郎	昭和 9	岡村シツ氏寄贈
日本画	古梅	岡村宇太郎	昭和 44	岡村シツ氏寄贈
日本画	孟宗薺	岡村宇太郎	昭和 45	岡村シツ氏寄贈
日本画	裾野風景	小松 均	昭和 53	小松暢子氏寄贈
日本画	驟雨	竹内 浩一	昭和 48	
日本画	定家	中野 弘彦	昭和 53	
日本画	方丈記	中野 弘彦	昭和 53	
日本画	世阿弥の哲学	中野 弘彦	昭和 55	
日本画	庭	正井 和行	昭和 40	
日本画	それから	松本 文子	昭和 47	
書	清瀧は神の雪けぞ京の水	浅井 素堂	平成 6 年	
書	粟たるる修学院のこみちかな	池田 桂鳳	平成 6 年	
書	大文字を待ちつつあるく加茂堤	日比野光鳳	平成 6 年	
書	荒城の月	日比野五鳳	昭和 49 年	

◇京都の美術・工芸展 布帛をめぐる物語～屏風・タ

ピストリー・きもの・人形～

概 要：布帛で創られた屏風・タペストリー・衣裳
の数々から、形状や素材、技法の違いに注

目して、染織品の造形の魅力を紹介。

期 間：2005年2月15日（火）～3月21日（月・祝）

作 品：染織 38 点、人形 27 点

第1部 屏風

作 品 名	作 者	制 作 年	備 考（出品歴）	作 品 名	作 者	制 作 年	備 考（出品歴）
海に想う	大久保直丸	昭和56年(1981)	第5回京都工芸美術選抜展	襲（かさね）	福本繁樹	昭和59年(1984)	第38回京都工芸美術展
トリ	岸田竹史	昭和52年(1977)	第9回日展	夜行	福本三木	昭和44年(1969)	第8回日本現代工芸展
游	佐野猛夫	昭和54年(1979)	第11回日展	潮音	樋上千哲	昭和46年(1971)	第25回京都工芸美術展
千年椿Ⅲ	寺石正作	平成10年(1998)	第30回日展	れんこんとかりふらわー	三浦景生	平成7年(1995)	建都1200年記念現代・京都の工芸展
鷺の精	中堂憲一	昭和53年(1978)	第10回日展	ベナレスの月	皆川泰蔵	昭和44年(1969)	第1回日展
天上の鏡	内藤英治	平成8年(1996)	97京都美術工芸展	磯	宮崎芳郎	昭和39年(1964)	第16回日展
巨木積雪	中井貞次	平成2年(1990)	第22回日展	樹炎	山本唯与志	昭和62年(1987)	第4回京都工芸美術選抜展
雪山遊戯図	西嶋武司	平成5年(1993)	第3回染・清流展				

第2部 タピストリー

作 品 名	作 者	制 作 年	備 考（出品歴）	作 品 名	作 者	制 作 年	備 考（出品歴）
インターフェランス	朝倉美津子	昭和57年(1982)	第1回京都工芸美術選抜展	WORK'80-Ⅳ	藤本哲夫	昭和55年(1980)	第4回京都工芸美術選抜展
古式の微笑Ⅱ	久保田繁雄	昭和56年(1981)	第5回京都工芸美術選抜展	駝鳥/原	山田進	昭和54年(1979)	第3回京都工芸美術選抜展
心象スケッチ	佐々木ひろ	昭和59年(1975)	第29回京都工芸美術展	緋の時	吉水絹代	平成7年(1995)	96京都美術工芸展
陰陽師	藤野靖子	平成5年(1993)	京都工芸ビエンナーレ1994				

第3部 きもの

作 品 名	作 者	制 作 年	備 考（出品歴）	作 品 名	作 者	制 作 年	備 考（出品歴）
松頼	小倉建亮	昭和36年(1961)	第8回日本伝統工芸展	流文	羽田登喜男	昭和46年(1971)	第19回日本伝統工芸展
松影	加藤正二郎	昭和53年(1978)	第4回京都工芸美術選抜展	ただよい	羽田登	昭和62年(1987)	第4回京都工芸美術選抜展
CARNIVAL	兼先恵子	昭和59年(1984)	第3回京都美術工芸選抜展	立鼓亀文様「四季」	福田喜重	平成8年(1996)	第43回日本伝統工芸展
忍冬華文様羅	北村武資	昭和55年(1980)		陽苑	細見華岳	平成元年(1989)	第36回日本伝統工芸展
洛北秋映	坂田彩湖	昭和63年(1988)	第35回日本伝統工芸展	光と影	森口華弘	昭和36年(1961)	第8回日本伝統工芸展
月輪	志村ふくみ	昭和58年(1983)	第30回日本伝統工芸展				

第4部 人形

作 品 名	作 者	制 作 年	備 考（出品歴）	作 品 名	作 者	制 作 年	備 考（出品歴）
秋明	足利典子	平成8年(1996)	第43回日本伝統工芸展	御所人形「這子」	面屋庄次郎	昭和初期	
御所人形「菊寿」	新井喜世	昭和50年(1975)頃		御所人形「お局さま参内」	面屋庄三	昭和52年(1977)	
稚児人形	大木平蔵	昭和34年(1959)	高須春枝氏寄贈	曙れ姿	面屋庄三	昭和62年(1987)	
雅楽「蘭陵王」	大木平蔵	昭和35年(1960)頃	高須春枝氏寄贈	佳日		昭和41年(1966)	京都青年会議所寄贈
御所人形「お福」	大木平蔵	昭和43年(1968)	高須春枝氏寄贈	桃山		昭和41年(1966)	京都青年会議所寄贈
御所人形「這子」	大木平蔵	大正期	石井英心氏寄贈	馬乗大将	大橋式峰	昭和61年(1986)	大橋一義氏寄贈
大礼雛	大木平蔵	昭和2年(1927)		おぼこ雛	大木平蔵	大正時代	高須春枝氏寄贈
富士丸と桜子	岡本正太郎	昭和45年(1970)	森百合子氏寄贈	古今雛		明治38年(1905)	伊吹和子氏寄贈
大内山	岡本正太郎	昭和40年(1965)代		古今雛		明治29年(1896)	西村大治郎氏寄贈
関取	黒川和江	昭和49年(1974)	第28回京都工芸美術展	古今雛		昭和10年(1935)	中村貞子氏寄贈(並川隊伝来)
御所人形「立兒」	中田世津	昭和50年(1975)頃		古今雛		昭和9年(1934)	津田喜久子氏寄贈
夜明け	西井千津子	昭和51年(1976)	第1回京都工芸美術選抜展	古今雛		明治32年(1899)	長澤忠一郎氏寄贈
柿の秋	西村喜代	昭和62年(1987)		古今雛		明治時代	吉川観方コレクション
御所人形「立稚児」	面屋庄次郎	昭和初期					

参考陳列

作 品 名	作 者	制 作 年	備 考（出品歴）	作 品 名	作 者	制 作 年	備 考（出品歴）
連翔	岸本景春	昭和48年(1971)		宝船文様掛袱紗		昭和3年(1928)	澤野壽子氏寄贈
山くのにの春	稻垣稔次郎	昭和29年(1954)		寿型斗文様掛袱紗		昭和3年(1928)	澤野壽子氏寄贈
五節句文様掛袱紗		昭和3年(1928)	澤野壽子氏寄贈				

(3) 別館展示

①東 室

◇第 53 回 2004 年 6 月 15 日～9 月 12 日 計 68 点 (前期: 6/15～8/1、後期: 8/3～9/12)

テーマ	資料名・作品名 (作者)	期 間
夏の農具	田掻き爪／熊手／田打車／除草機／草刈籠／茶摘籠／篩	全期間
中国・台湾の玩具	指人形／首人形／木彫人形ほか	全期間
森寛斎の人物画	藤原鎌足・中大兄皇子図／橘正成像／関羽將軍像／陶淵明図／鉄 仙人図／武田信玄像模本	前 期
太夫図	伝吉野太夫図 (益利)／太夫道中図屏風 (祇園井持)／島原太夫図 (三島上龍)／太夫雪見図 (山口素絢)／雨中太夫道中図 (菊池容斎)	後 期

◇第 54 回 2004 年 9 月 14 日～2005 年 2 月 13 日 計 104 点

テーマ	資料名・作品名 (作者)	期 間
秋の農具	稲刈鎌／稲刈機／金扱き／唐棹／漏斗／俵締め／米刺し	全期間
運搬具	炊き出し用桶／天秤棒／荷台／負いね籠／手提籠／石箕／栗籠／魚籠	全期間
韓国の玩具	木雁／張子虎／泰上老君／方相氏／鳳山仮面／木咿／独楽／凧ほか	全期間

②西 室

a. 世界の石器

- ・猿人の石器－5 点
- ・原人の石器－5 点
- ・旧人の石器－8 点
- ・北ヨーロッパ新石器時代の石器－17 点
- ・大分県宮地前遺跡出土の石器－24 点

b. 青森県石亀遺跡の縄文土器

- ・土器－24 点
- ・石製品－7 点

c. 平安京跡出土瓦－93 点

西室の展示は、2005 年 2 月 13 日まで

* 詳細については『京都文化博物館 10 年のあゆみ』(1999 年)を参照されたい。

(4) その他館内展示物

① 1 階

a. 本館

- ・「紫式部像」
- ・清水九兵衛「朱装」
- ・はぎとり土層

② 2 階

- ・礎盤

- ・石仏

- ・梅原龍三郎「富士山の図」

② 7 階

- ・甕

b. 別館

- ・礎石

3-2 特別展示

(1) 自主企画展

◇近世京都の狩野派展

会 期：2004 年 9 月 18 日（土）～10 月 24 日（日）
（32 日間）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

会 場：4 階特別展示室・3 階美術工芸展示室

入場料：一般 1,100 円 大高生 800 円 中
小生 500 円

主 催：京都府・京都文化博物館・京都新聞社・
NHK 京都放送局

後 援：京都市・京都府教育委員会・京都市教育委
員会・京都府観光連盟・京都市観光協会・
平安建都 1200 年記念協会・歴史街道推進
協議会・京都商工会議所・KBS 京都・エ
フエム京都

担当者：野口 剛

概 要：近世を通じて絵画世界の頂点に立ち続けた
狩野派。徳川幕府の成立以降、狩野派は本
拠を江戸に置いたが、京都でも、江戸狩野
様式を確立した狩野探幽の高弟・鶴澤探山
を祖とする鶴澤派や、桃山時代に豪壮な画
風で一世を風靡した狩野永徳の高弟・狩野
山楽に始まる京狩野家などが活躍した。さ
らに京都では、尾形光琳や円山応挙、曾我
蕭白など錚々たる画家たちが画業の初期に
狩野派について学んだ。狩野派は近世絵画
の本流を形成するとともに、その魅力に富
んだ多彩な展開にも役割を果たした。本展
は、伝統と格式を誇る狩野派の作品はもと
より、狩野派に学びつつも独自の画風を創



2004 年 10 月「近世京都の狩野派展」会場風景
（4 階特別展示室）

造した画家たちの作品、さらにはそうした
新画風に刺激された狩野派作品もあわせて
展示することで、近世の京都画壇に新しい
光を当てようとするものである。

展覧会の構成と主な作品：

プロローグ 旧御所障壁画ー近世前期・狩
野派の粋と雅ー

狩野敦信「長谷寺桜花図襖（修学院
離宮襖、旧東福門院御所襖）」ほか

第 1 部 近世京都の狩野派絵師たち

狩野山楽「龍虎図屏風」

狩野山雪「雪汀水禽図屏風」

鶴澤探山「林和靖図」ほか

第 2 部 狩野派と近世京都画壇

尾形光琳「李白図」

円山応挙「写生図巻」ほか

入場者：25,316 人（1 日平均 791 人）

講演会：映像ホール

10 月 11 日「狩野派における伝統と革新」

佐々木丞平氏（京都大学大学院教授）佐々

木正子氏（京都造形芸術大学客員教授、日
本画家）

ギャラリートーク：4 階・3 階会場内

9 月 25 日、10 月 1 日、10 月 9 日、10 月
15 日 野口 剛（当館学芸員）

◇古代エジプト文明 3000 年の世界

会 期：2005 年 2 月 2 日～3 月 21 日（42 日間）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

入場料：一般 1,000 円 大高生 700 円 中
小生 400 円

特別鑑賞日：2 月 1 日

主 催：京都府・京都文化博物館・朝日新聞社

後 援：エジプト・アラブ共和国大使館・京都府教
育委員会・京都市・京都市教育委員会・京
都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都
1200 年記念協会・歴史街道推進協議会・
京都商工会議所・NHK 京都放送局・KBS
京都・エフエム京都

協 力：エジプト航空・ミストラベル

担当者：南 博史

概要：古代エジプト文明を特徴づける「死」「再生」「王権」「神」をテーマに。国内の施設・団体が収蔵する優品約240点でもってわかりやすく多角的に展示。古代エジプト3000年と以降のイスラム文化も加え、これらを支えてきたエジプトの人々の精神世界を復元するものである。また、「五感で楽しむ古代エジプト」をテーマに体感型を中心とした教育普及プログラムを会場全体で実施。

展示会の構成と主な作品：Ⅰ章では、古代エジプト人の生活の根本にあった「死」(Ⅰ-1)に対する考え方、および「再生(豊穡)」(Ⅰ-2)に関わる作品を、あの世への通過点として重要な「墓」と「ナイル河」に育まれた豊かな自然と大地というイメージの中でそれぞれ展示した。とくに死のコーナーでは墓室を復元するなど体感的な展示を心がけた。

Ⅱ章では、古代エジプト文明3000年の歴史を背景として、常にその中心であった「王権」(Ⅱ-1)に関わる王の姿と王権を表す作品を展示。「神」(Ⅱ-2)では、古代エジプト人の心の拠り所であった多く神々について、できるだけ多様な作品で展示した。

Ⅲ章「3000年の世界から現代へ」は、エピローグである。古代エジプト王朝からローマ支配、そしてアラブ世界へ。多神教から一神教、キリスト教からイスラム教。彼らの生活の背景は大きく変わりがながらも、エジプトの人々は今に生きている。その様子を写真・映像を中心に紹介した。

入場者：48,265人(一日平均1,149人)

講演会：会期中の毎週土曜日(3月19日は除く)

時間：午前11時から午後12時半

会場：3階映像ホール

2月5日 山花京子 展覧会企画委員、東海大学講師
「古代エジプトの死、再生、王権、神」



2005年2月「古代エジプト文明3000年の世界展」会場風景
(4階特別展示室)



古代エジプト文明3000年の世界展「五感で楽しむ古代エジプトコーナー」会場風景「クレオパトラに変身!」

入場者 101名

2月12日 菊川 匡 菊川コレクションオーナー
「古代エジプト美術の変遷と収集のおもしろさ」

入場者 76名

2月19日 大城道則 駒沢大学専任講師
「古代エジプト文化と地中海世界」

入場者 93名

2月26日 南 博史 京都文化博物館主任学芸員
「展覧会を通して見る古代エジプト3000年の世界」

入場者 83名

3月5日 鈴木まどか 倉敷芸術科学大学教授
「古代エジプトの形と色 - エジプト美術を解説する」

入場者 89名

3月12日 宮本純二 京都橘女子大学講師
「古代エジプトを掘る」

入場者 110名

◎ギャラリートーク

アंक・ジェット会員などを中心に別館講義室、3階映像ホールおよび会場内にて実施。

2月6日(日) 午後1時半～ / 別館講義室→会場
山花京子(前出):「展示会の見どころ」

2月12日(土) 午後1時半～ / 会場
南 博史(当館主任学芸員):「展示案内」

2月19日(土) 午後1時半～ / 別館講義室→展示室
小山雅人(京都府埋蔵文化財調査センター):「古代エジプト象形文字の世界」

2月26日(土) 午後3時半～ / 別館講義室→展示室
宮本純二(京都橘女子大学講師):「トウトモセ3世とハトシェブスト」

3月5日(土) 午後3時半～ / 別館講義室→展示室
西田恭子(オリエント学会会員、アंक・ジェット会員):「お墓の出来るまで」

3月12日(土) 午後3時半～ / 3階映像ホール→展示室
萩生田憲昭(オリエント学会会員):「『ナルメル王のパレット』とナマズ」

3月13日(日) 午後3時半～ / 3階映像ホール→

展示室

土居泰子(オリエント学会会員、アंक・ジェット会員):「古代エジプト愛の歌」

その他の催事:

◎オリエンタルダンス

エジプトよりオリエンタルダンスチーム(エジプト東部地域民俗舞踊団)7名(団長:Osman Mohamed Azmy)を招聘。2月1日開会式ではレセプション会場にて招待客を迎えて披露。2月2日、3日、4日の3日3回、有料(2,000円)公演を行った。
会 場:別館ホール

時 間:午後7時から午後8時まで

入場者総数:250名

◎ベリーダンス

名古屋在住のベリーダンスチーム5名(代表:中山和子)がボランティアでダンスを披露した。

日 時:2月20日午前11時、午後1時半、午後3時

場 所:1階エントランス内にて

(2) 共催展等

◇白隠禅師生誕320年「白隠 禅と書画」展

会 期:2004年4月10日～5月23日(38日間)

休館日:月曜日(祝日の場合はその翌日)

入場料:一般:1,000円、大高生700円、中小生400円

主 催:京都文化博物館、日本経済新聞社、京都新聞社
後援等:

[後 援] 京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、平

安建都1200年記念協会、歴史街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都

[特別協力] 財団法人永青文庫、白隠宗大本山松蔭寺

[特別協賛] スウォッチグループジャパン株式会社
オメガ事業部

[企画協力] 株式会社アサツー デイ・ケイ

会 場:4階特別展示室

担当者:野口 剛

概 要:江戸時代、臨済宗中興の祖・白隠慧鶴は、修行者の悟りを促すため、また民衆にわか



2004年5月「白隠 禅と書画展」開会式風景(4階特別展示室)



2004年5月1日「白隠 禅と書画展」森清範氏講演会風景(別館ホール)

りやすく禅の教えを伝えるため、豪放にしてユーモラスかつ慈悲心に満ちた書や画を数多く制作した。禅の境地を技巧にとらわれずストレートに表現した白隠の書画は近年、高く評価されている。本展は、白隠コレクションで知られる故・細川護立氏ゆかりの財団法人永青文庫と、白隠が住した沼津・松蔭寺の所蔵品を中心に、約120点もの白隠の書と画を展覧するかつてない規模の展覧会である。

作品等：「達磨図（どふ見ても）」「出山釈迦図」「一円相」「無字」ほか

入場者：22,550人（1日平均593人）

関連行事：別館ホール

4月17日「白隠は凄いんだぞ！ー禅画と日本美術史」
山下裕二氏（明治学院大学教授）

5月1日「色即」森清範氏（北法相宗清水寺貫主）

◇「新選組」展

会期：2004年6月5日～7月19日（39日間）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

入場料：大人1,100円 大高生800円 中小生500円

特別鑑賞日：6月4日

主催：京都文化博物館・NHK京都放送局・NHK
きんきメディアプラン

後援：京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都商工会議所・京都府観光連盟・京都市観光協会・平安建都1200年記念協会・歴史街道推進協議会・KBS京都・エフエム京都・京都新選組キャンペーン協議会

協賛：ハウス食品

制作協力：NHKプロモーション

会場：4階特別展示室、3階美術工芸展示室

担当者：大塚活美

概要：NHK大河ドラマ「新選組！」の関連企画として、京都・多摩など新選組ゆかりの地に残る遺品により、京都守護職松平容保のもとに結成された治安組織である「新選組」の足跡を辿った。

作品：「近藤勇肖像画」、「新選組袖章」、二大字「尊

攘」、「近藤勇着用稽古着」など 約200点

入場者：91,461人（1日平均2,345人）

講演会：別館ホール

・6月19日「新選組と多摩」

小島政孝氏（小島資料館館長）

・7月3日「京における新選組」

木村幸比古氏（霊山歴史館学芸課長）

関連イベント：1階エントランス

NHK大河ドラマ「新選組！」パネル展

◇～伝統からの挑戦～日本画「京の今日」展

会期：2004年7月30日～9月5日（32日間）

前期 7月30日～8月15日（15日間）

後期 8月18日～9月5日（17日間）

休館日：毎週月曜日

会場：4階特別展示室・3階美術工芸展示室

入場料：通し券 一般1,200円 大高生900円 中小生600円

半期券 一般800円 大高生600円 中小生400円

主催：京都府・京都文化博物館・京都日本画家協会・読売新聞大阪本社

後援：京都商工会議所、NHK京都放送局

担当者：長舟洋司

概要：京都日本画家協会に所属する作家410人が新作を出品し（前・後期で作品入れ替え）、併せて理事長・顧問を務めた物故作家の作品22点を展示。

作品：秋野不矩「平安神宮」（「京の百景」より）
他 432点

入場者：28,325人（1日平均885人）

関連行事：

・講演会・シンポジウム 8月1日 別館ホール
基調講演「京都の日本画」内山武夫（京都国立近代美術館館長）

シンポジウム「日本画の現在」内山武夫（京都国立近代美術館館長）、高階秀爾（大原美術館館長・東京大学名誉教授）、上村淳之（日本画家）、森田りえ子（日本画家）、[進行] 山本俊介（京都文化博物館学芸課長）

・ギャラリートーク 4階特別展示室・3階美術工芸展示室

8月8日 芦田裕昭、池田道夫、烏頭尾 精、大塚

明、土手朋英

8月14日 岩沢重夫、岡村倫行、川島睦郎、國府
克、佐々木 弘

8月22日 中路融人、西久松吉雄、箱崎睦昌、濱田
昇児、福本達雄

8月28日 岩倉 寿、後藤順一、堀江春美、三輪晃
久、吉川 弘、和田淳一

◇秘められた黄金の世紀展—百済武寧王と倭の王たち—

会 期：2004年11月6日～12月15日（34日間）

休館日：月曜日

入場料：一般 1,000 円 大高生 700 円
中小生 400 円

特別鑑賞日：11月5日

主 催：京都文化博物館、読売新聞大阪本社、「百
済武寧王と倭の王たち」実行委員会

後 援：文化庁、京都府、京都市、京都府教育委員
会、京都市教育委員会、京都商工会、

京都府観光連盟、京都市観光協会、平安建都 1200
年記念協会、歴史街道推進協議会、NHK
京都放送局、KBS 京都、エフエム京都

担当者：植山 茂

概 要：5～6世紀を中心にした日本各地の遺跡出
土品と韓国の遺跡出土品を併せて展示し、
日本が百済をはじめとする朝鮮半島の先進
文化を積極的に導入し、東アジア世界の中
で本格的な国家体制をつくりあげた時代を
考える。

作 品：韓国武寧王陵出土金帽曲玉・金製花形装飾、
宮地嶽古墳出土金銅壺鐙（国宝）、

藤ノ木古墳出土金銅装龍文飾金具（国宝）、宮山古
墳出土金環・首飾り（重要文化財）、金鈴
塚古墳出土金銅装鞍金具（重要文化財）な
ど 341 件（韓国の資料 37 件を含む）

入場者：11,636 人（1 日平均 342 人）

講演会：別館ホール

・11月19日「百済からみた日本の古墳文化」
吉井 秀夫氏（京都大学助教授）

◇京都府美術工芸新鋭選抜展～2005 新しい波～

会 期：2005年1月4日～1月19日（14日間）

休館日：毎週月曜日

入場料：大人 700 円 大高生 500 円 中小生 400 円

主 催：京都府・京都文化博物館

後 援：京都新聞社・朝日新聞京都総局・毎日新聞
京都支局・読売新聞大阪本社・産経新聞社・
日本経済新聞社・NHK 京都放送局・KBS
京都・エフエム京都・京都商工会議所・平
安建都 1200 年記念協会

担当者：藤本恵子・洲鎌佐智子

概 要：京都で活躍している新進作家の作品を広く
紹介し、その育成を図るとともに、京都の
美術工芸の振興を図る。

作 品：最優秀賞：高橋匡太「absent/shadow」
（彫刻・映像）

優秀賞：兼末希恵「雨アガリ雲ナガレ人アルク・1」
（日本画）、羽毛田優子「滲・壺」（染織）、
人長果月「The egocentric theory」（ミ
クスト・メディア）など 40 作家、72 点

入場者：4,447 人（1 日平均 317 人）

2004 年度特別展一覧

展 覧 会 名	会 期	日 数	入場者数	一日平均	形 態
白隠禅師生誕 320 年「白隠 禅と書画」展	2004. 4.10～ 5.23	38	22,550	593	共催展
「新選組」展	2004. 6. 5～ 7.19	39	91,461	2,345	共催展
～伝統からの挑戦～日本画「京の今日」展	2004. 7.30～ 9. 5	33	30,110	941	共催展
「近世京都の狩野派展」 ～光琳も応挙も蕭白も、みんなはじめは「狩野派」だった～	2004. 9.18～10.24	32	25,316	791	自主企画
「秘められた黄金の世紀展—百済武寧王と倭の五王たち—」	2004.11. 6～12.15	34	11,636	342	共催展
京都府美術工芸新鋭選抜展～2005 新しい波～	2004. 1. 4～2005. 1.19	14	4,447	318	共催展
「古代エジプト文明 3000 年の世界」展	2005. 2. 2～ 3.21	42	49,600	1,181	自主企画
計 7 件		232	235,120	1,013	

(3) 館外共催事業

◇京都府立総合資料館収蔵展示室 公開

◇京都府立総合資料館収蔵展示室 春の公開

会 場：3 階収蔵展示室

会 期：2004 年 5 月 26 日～28 日（3 日間）

入場者数：133 人

◇京都府立総合資料館収蔵展示室 秋の公開

会 場：3 階収蔵展示室

会 期：2004 年 10 月 19 日～21 日（3 日間）

入場者数：73 人

(4) 京都府民ギャラリー事業への協力

京都府では、府民が身近に「文化・芸術の町」を体験できる空間を創出するために、府民ギャラリー事業を実施している。本事業は、京都府が所蔵する美術工芸品のうち、「京の四季」や「京の絵本原画」等からテーマを定めて構成した作品群を、府内の文化施設で展示

するもので、当館は（1）展示会場となる文化施設の事前調査、（2）展示作品の選定、（3）会場での展示指導などに協力している。

主 催 者	期 間	開催場所	展示内容
京都府	2004. 4.20～ 6.30	京都府庁	「京の四季」から 7 点
京都府	2004. 7. 1～ 9.30	京都府庁	「京の四季」から 7 点
京都府	2004.10. 1～12.23	京都府庁	「京の四季」から 7 点
京都府	2004.12.24～2005. 3.31	京都府庁	「京の四季」から 7 点
八幡市立松花堂美術館	2005. 3.25～ 5. 8	八幡市立松花堂美術館	五代・六代清水六兵衛から 40 点



図録『近世京都の狩野派展』（表）



図録『古代エジプト文明 3000 年の世界』

3-3 映画

(1) 映画常設上映

2004 年度 3F 映像ホール映画上映

上映期間	テ ー マ	作 品 名	日	回数	鑑賞者数
2004. 4. 1～ 5. 2	映画女優・若尾文子の世界	祇園囃子／赤線地帯／初春狸御殿／ぼんち／雁の寺／ 越前竹人形／清作の妻／赤い天使／雁／華岡青洲の妻	20	40	2,472
2004. 5. 7～ 5.30	フィルムの中のファッション — Mode dans le film —	太陽の季節／狂った果実／彼岸花／薔薇の葬列／君 の名は 第1部／君の名は 第2部／君の名は 第3部	10	20	1,443
2004. 5.22	ドイツ映画上映会	怪談五種	1	2	287
2004. 5.27～ 7.18	「新選組」関連映画上映	燃えよ剣／京洛の舞／維新の曲／江戸最後の日 ／御法度／竜馬暗殺／暗殺／壬生義士伝／鞍馬 天狗 龍襲虎搏の巻／幕末残酷物語／その前夜／ 螢火／幕末／幕末太陽傳／新選組始末記	30	60	5,630
2004. 7.15・7.17	祇園祭記念特別上映	祇園祭	2	4	389
2004. 7.22～ 8.29	夏休み子ども映画特集 モノクロームの子どもたち	生まれては見たけれど／峠／煙突屋ペロー／路 傍の石／太陽の子／次郎物語／手をつなぐ子等 ／蜂の巣の子供たち／忘れられた子等／キクと イサム／サムライの子	20	40	1,935
2004. 8. 5～ 8. 8	上方ルネッサンス 2004 楽劇の祭典協賛企画 映画の中の歌舞伎役者—芸道二題	藤十郎の恋／残菊物語	4	8	481
2004. 9. 2～10. 3	【第4回京都映画祭協賛企画】 剣極まる一武士の魂の叫び	春秋一刀流／剣光桜吹雪／七人の侍／血槍富士／薄 桜記／座頭市物語／斬る／切腹／椿三十郎／仇討	20	38	2,314
2004.10. 7～10.31	【第3回新京極映画祭協賛企画】 ピュアな愛のかたち—純愛映画特集	伊豆の踊子／隣の八重ちゃん／素晴らしき日 曜日／また逢う日まで／カルメン純情す／野菊 の如き君なりき／五番町夕霧楼／忍ぶ川	16	32	1,848
2004.11. 4～11. 7	【「きものの似合うまち・京都」 推進事業】協賛企画 きものの幻想郷 ～鈴木清順の映像美を支える着物	ツイゴイネルワイゼン／夢二	4	8	583
2004.11.11～11.28	特集・にんじんくらぶ 一岸恵子、久我美子、有馬稲子	女の園／挽歌／夜の鼓／風花／からみ合い／怪 談	12	24	1,582
2004.12. 2～12.26	一坂根田鶴子生誕100年記念企画— 坂根田鶴子～京都が生んだ 日本初の女性映画監督の業績	滝の白糸／折鶴お千／浪華悲歌／祇園の姉妹／ 開拓の花嫁／坂根田鶴子の生涯／映画を作る女 性たち／残菊物語／ある映画監督の生涯	16	32	1,434
2005. 1. 6～ 1.30	特集：女の生きざま	女人哀愁／雪夫人絵図／偽れる盛装／いとはん 物語／女が階段を上る時／女の坂／越後つづい し親不知／肉体の門	16	32	2,430
2005. 2. 3～ 2.27	特集：犯人を捜せ— 社会派推理映画の世界へ	野良犬／真昼の暗黒／張込み／黒い画集 あるサ ラリーマンの証言／ゼロの焦点／誇り高き挑戦 ／黒の試走車／天国と地獄	16	32	2,947
2005. 3. 3～ 3.27	風刺・アイロニー・ペーソス— 喜劇映画特集	落第はしたけれど／国士無双／汗／本日休診／ お父さんはお人好し／夫婦善哉／台風騒動記／ 裸の大将／エロ事師より人類学入門	16	32	2,078

◇ドイツ映画上映

共 催：京都ドイツ文化センター

会 場：当館映像ホール

内 容：ドイツ映画『怪談五種』（1922 年公開・
2000 年復元版）の上映

期 間：平成 16 年 5 月 22 日

◇日本映像学会関西支部 第 26 回夏期セミナー 2004 年

「女優論」～ヒロイン像・時代を映す鏡として～

共 催：日本映像学会関西支部

会 場：京都府立ゼミナールハウス

内 容：『鬼龍院花子の生涯』（1982）等 9 作品の
上映とシンポジウム

期 間：7 月 31 日～ 8 月 2 日

◇上方ルネッサンス 2004 楽劇の祭典 協賛上映
映画の中の歌舞伎ー芸道二題
共 催：関西楽劇フェスティバル協議会
会 場：当館映像ホール
内 容：『藤十郎の恋』（1938）、『残菊物語』（1939）
の上映
期 間：8月5日～8日

協 力：東京国際女性映画祭、青森放送株式会社、
如月社
会 場：当館映像ホール、映像ギャラリー
内 容：『浪華悲歌』（1936）、『開拓の花嫁』（1943）等9作品の上映と坂根田鶴子・
溝口健二資料の展示、シンポジウム。
期 間：12月2日～12月26日

◇「きものの似合うまち・京都」推進事業協賛企画
きもの幻想郷～鈴木清順の映像美を支える着物
協 力：京都府染織・工芸室、きものステーション・
京都
会 場：当館映像ホール
内 容：『ツイゴイネルワイゼン』（1980）等2作
品の上映と資料展示
期 間：11月4日～7日

◇シンポジウム「よみがえる日本映画」
映画復元の現在、フィルムとデジタルの融合
主 催：立命館大学アトリサーチセンター他
共 催：京都府、鳥取県三朝町
協 力：東京国立近代美術館フィルムセンター
会 場：立命館大学衣笠キャンパス 以学館
内 容：復元版『三朝小唄』（弁士・楽団付き）、デ
ジタル復元版『祇園小唄 絵日傘 狸大尽』
等の上映と復元シンポジウム
期 間：17年3月9日

◇ー坂根田鶴子生誕100年記念企画ー
坂根田鶴子～京都が生んだ日本初の女性映画監督の業績

(2) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、明治から昭和初期
の映画カメラ・映写機、伊藤大輔文庫、大映京都撮
影所関連資料を展示している。また所蔵の映画作品か
ら73作品をダイジェストして収録し、検索システムと
して公開している。詳細については、『京都文化博物館

10年のあゆみ』（1999年）を参照されたい。なお、映
像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・
チラシ等50点前後の資料を随時展示替えしながら公開
している。2004年度は下記のテーマで展示した。

2004年度 3F ギャラリー展示

期 間	テ ェ マ
2004. 4. 6～ 5.30	「映画女優・若尾文子」、若尾文子出演作品のスチル写真、ポスター等を展示
2004. 6. 1～ 9. 5	新選組を題材にした映画をスチル、ポスター等で展示
2004. 9. 7～10.31	「剣戟大スター」、大河内伝次郎・阪東妻三郎・片岡千恵蔵・嵐寛寿郎・長谷川一夫・市川右太衛門出演作品のスチル写真、ポスター等を展示
2004.11. 2～11.28	「映画日和きもの座」、映画にみられるきもの着こなしの特徴を、スチル写真等で紹介展示
2004.11.30～2005. 1. 9	「坂根田鶴子」に関する資料を紹介展示
2005. 1.11～ 1.30	1月の特集「女の生きざま」で上映される作品のスチル写真、ポスター等を展示
2005. 2. 1～ 4.10	2月の特集「犯人を捜せー社会派推理映画の世界へ」で上映される作品のスチル写真、ポスター等を展示

(3) 京都府映像文化センター運営委員

2004年度映像文化センター運営委員

氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等	備 考
坂上 順	東映京都撮影所長	羽生 清	京都造形芸術大学教授	2003年4月～
実方 司郎	京都興行協会常任理事	森田富士郎	映画撮影監督	
多田道太郎	京都大学名誉教授	下田 元美	京都府文化芸術室長	
中島 貞夫	映画監督	岡本 道雄	内部委員	2003年4月～
中村 努	シナリオライター	安井 恒夫	内部委員	

4. 調査研究活動

4-1 学芸員の活動

(1) 博物館研究費による研究

- 洲鎌佐智子 ・江戸時代の京焼資料について
鈴木忠司 ・岩宿時代の食体系再考－礫群による調理実験を中心として
土橋 誠 ・古式競馬の研究
大塚活美 ・京都および周辺地域の祭礼についての歴史的研究
大塚活美・野口 剛・洲鎌佐智子
・館所蔵「誓願寺門前図」の総合的研究
藤本恵子 ・近代における友禅染の諸相

(2) 外部研究費・共同研究等による研究

- 長舟洋司 ・鹿島美術財団研究助成「田村宗立関連資料の整理と紹介」
野口 剛 ・文部科学省科学研究費基盤研究(B)(1)「江戸時代における『書画情報』の総合的研究—『古画備考』を中心に—」(代表：玉蟲敏子武蔵野美術大学教授)研究協力者
南 博史 ・『エルサルバドル・チャルチュアパ遺跡考古学プロジェクト』(代表：伊藤伸幸名古屋大学助手、新大陸文化研究所代表)
大塚活美 ・文部省科学研究費基盤研究A「第二定型洛中洛外図屏風の総合的研究」(代表：黒田日出男東京大学教授)研究協力者

(3) 出講・委嘱

- 山本俊介 ・京都府美術工芸新鋭選抜展 審査員
・福知山市佐藤太清賞公募美術展 審査員
藤本恵子 ・第34回日本伝統工芸展近畿展 染織・人形部門第一次鑑査委員
・第51回日本伝統工芸展 染織・人形部門第一次鑑査委員
・無形文化財工芸技術資料買取協議員
洲鎌佐智子 ・京都造形芸術大学(通期)「博物館学」
・滋賀県立陶芸の森陶芸館評価委員会委

員

- 野口 剛 ・花園大学(通期)「美術史研究」
鈴木忠司 ・京都府立大学出講(通年)「博物館実習講義」
・古代学協会委嘱『古代文化』刊行委員会編集参与
・岩宿文化賞選考委員
植山 茂 ・立命館大学(前期)「考古学研究法」
・京都造形芸術大学(後期)「博物館学ⅡB」
南 博史 ・京都外国語大学出講(通年)「博物館実習Ⅰ」「博物館学Ⅰ・Ⅱ」
・古代学協会委嘱『古代文化』刊行委員会編集参与
大塚活美 ・滋賀県教育委員会 自然神信仰調査調査員

(4) 学芸員の業績

a. 論文・著作

- 藤本恵子 ・「風俗研究家・吉川観方のコレクションの意義と特質—近世小袖の今日的価値の礎—」(『(財)鹿島美術財団報告論文集』2004所収)
長舟洋司 ・「伝統と革新と—日本画『京の今日』展(上・中・下)」(『読売新聞』連載、2004年8月)
洲鎌佐智子 ・「近代の清水六兵衛」(『清水六兵衛歴代展』図録所収、千葉市美術館、2004年9月)
・「冴える青白磁の加藤委」(『土から陶へ』の造形展—Part「美濃—」図録所収、2004年5月)
野口 剛 ・図録『近世京都の狩野派展』企画/編集(京都文化博物館、2004年9月)
・「白隠 禅と書画」(『茶道雑誌』4月号、2004年4月)
・「鶴澤探山の画歴—失われた御所障壁画—」(図録『近世京都の狩野派展』所収、

- 2004 年 4 月)
- 鈴木忠司 ・「岩宿時代人はドングリを食べたかー石
蒸し調理実験からー」(『山下秀樹氏追
悼考古学論集』所収、2004 年 6 月)
・「新潟県荒屋遺跡採集の細石器」(京都
文化博物館研究紀要『朱雀』第 17 集所収、
2005 年 3 月)
- 鈴木忠司・竹内直文・礫群調理実験グループ
・「石蒸し調理実験記録(5)ー玄武岩礫
群と砂岩礫群との破損率の比較をめ
ぐってー」(京都文化博物館研究紀要
『朱雀』第 17 集所収)
- 植山 茂 ・「秘められた黄金の世紀展(上・中・下)」
(『読売新聞』連載、2004 年 10 月)
・「論文の再録にあたって」(『朝鮮古代研
究』第 5 号所収、朝鮮古代研究刊行会、
2004 年 11 月)
- 南 博史 ・EXCAVACION EN LA TRIENCHERA
4N "LITICA" Ito, Nobuyuki Ed.,
CASA BLANCA, CHALCHUAPA
(2000-2003) INFORME FINAL DEL
PROYECTO ARQUEOLOGICO
DE EL SALVADOR, I2 y I7, DEL
PROYECTO ARQUEOLOGICO DE
EL SALVADOR, SEP.2004
・「はじめに」「展覧会へのいざない」「III
章 3000 年の世界から現代へ」「付録エ
ジプトを感じよう」(図録『古代エジプ
ト文明 3000 年の世界』所収、京都文
化博物館、2005 年 2 月)
・「古代エジプト文明 3000 年の世界」5
回連載(『朝日新聞』所収、2005 年 2 月)
・「特別展 古代エジプト文明 3000 年の
世界を通した異文化理解への旅」(「文
化財レポート」第 16 号掲載、文化財
保護基金室、2005 年 3 月)
- 土橋 誠 ・「翻刻『競馬秘記』(下)」(京都文化博
物館研究紀要『朱雀』第 17 集所収)
- 大塚活美 ・「作品解説(分担)」(図録『新選組』展』
所収、NHK メディアプラン、2004 年 4
月)
- ・「『新選組』展」(『奈良新聞』2004 年 6
月 22 日)
・「祇園祭」(『京都民報』2004 年 7 月 11 日)
・『図説 安倍晴明と陰陽道』編著(河出
書房新社、2004 年 8 月)
・「撒山」「蒲生野」(『京都・滋賀 かく
れ里を行く』所収、淡交社、2005 年 3 月)
・「室町將軍・異国使節等の祇園祭見物
ー中世における首都京都の祭礼ー」(京
都文化博物館研究紀要『朱雀』第 17
集所収)
・「林原美術館本洛中洛外図屏風の構図と
主題と発注者ー室町期・江戸期の洛中
洛外図屏風との関連を通してー」(『第
二洛中洛外図屏風の総合的研究』所収、
2005 年 3 月)
- b. 発表・講演
- 野口 剛 ・「近世京都の狩野派展」ギャラリートー
ク(2004 年 9 月 25 日、10 月 1 日、10
月 9 日、10 月 15 日)
・実相院文化講座「御所の障壁画につい
て」(実相院、2005 年 1 月)
- 鈴木忠司 ・「磐田に人がすみ始めたころー 2 万年前
のムラと暮らしてー」(磐田市立図書館、
2004 年 8 月 22 日)
・「埋納銭」(歴史常設展展示解説、京都
文化博物館、2003 年 11 月 27 日)
- 植山 茂 ・「仏教について」(MOK の会例会、京
都文化博物館、2005 年 6 月 12 日)
・「中世京都のくらし」(歴史常設展展示
解説、京都文化博物館、2004 年 6 月
26 日)
・「京の鏡造り」(歴史常設展展示解説、
京都文化博物館、2004 年 9 月 18 日)
・「平安宮の鬼瓦」(歴史常設展展示解説、
京都文化博物館、2005 年 3 月 19 日)
- 南 博史 ・特別講義「博物館の現状と課題」(京都
嵯峨芸術大学、2004 年 9 月 9 日)
・特別講演「視聴覚教育メディア論」(京
都造形芸術大学、2004 年 9 月 20 日)

- ・記念講演「展覧会を通して見る古代エジプト 3000 年の世界」(京都文化博物館、2005 年 2 月 26 日)
- ・「古代エジプト展ギャラリートーク」(2005 年 2 月 20 日)
- ・「漆塗り」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2004 年 4 月 17 日)
- ・「エジプト・アコリス遺跡の発掘調査」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2005 年 2 月 19 日)、橘女子大学講師宮本純二氏と合同

土橋 誠

- ・「葵祭」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2004 年 5 月 8 日)
- ・「源氏物語に見える王朝文学」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2004 年 10 月 16 日)
- ・「仮名手本忠臣蔵の世界」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2004 年 12 月 14 日)

大塚活美

- ・「「新選組」展について」(友の会文化講座、京都文化博物館、2004 年 7 月 7 日)
- ・「幕末の京都」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2004 年 7 月 10 日)
- ・「江戸時代の京の道」(歴史常設展展示解説、京都文化博物館、2005 年 1 月 29 日)
- ・「街道をゆく新選組」(くさつ・歴史発見塾、草津宿街道資料館、2005 年 2 月 12 日)
- ・「むかしから伝わる行事(蒲生町の伝統行事)」(蒲生東小学校、2005 年 3 月 11 日)
- ・「生活の中の行事ー民俗学からみる蒲生町ー」(生涯学習・観光ボランティアガイド養成講座、あかね文化センター、2005 年 3 月 11 日)
- ・「洛中洛外図屏風について」(MOK の会例会、京都文化博物館、2005 年 3 月 11 日)



2004 年 10 月 16 日 学芸員による展示解説「特別陳列 源氏物語に見える王朝文学」(土橋学芸員 / 2 階歴史展示室)



「白隠 禅と書画展」ちらし

5. 普及活動

5-1 出版物

(1) 京都文化博物館研究紀要『朱雀』

◇『朱雀』第17集

発行：京都文化博物館

発行日：2005年3月31日

印刷：野崎印刷紙業（株）

体裁：B5判、80ページ

編集担当：鈴木忠司

所載記事：

【論攷】

大塚活美 室町將軍・異国使節等の祇園祭見物－
中世における首都京都の祭礼－

【研究ノート】

鈴木忠司・竹内直文・礫群調理実験グループ
石蒸し調理実験記録（5）－玄武岩礫群と
砂岩礫群との破損率の比較をめぐって－

【資料紹介】

土橋 誠 翻刻：『競馬秘記』（下）

大塚和義・鈴木忠司

新潟県荒屋遺跡採集の細石器

(2) 京都文化博物館年報

◇2003年度

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2005年3月31日

印刷：（株）燈影社

体裁：A4判、42ページ

編集担当：鈴木忠司・大塚活美

(3) 展覧会図録

◇『近世京都の狩野派展』

編集：京都文化博物館学芸課

発行：京都文化博物館

発行日：2004年9月18日

制作・印刷：日本写真印刷（株）

体裁：A4判、247ページ

編集担当：野口 剛

◇『古代エジプト文明 3000 年の世界』

編集：京都文化博物館学芸課

発行：京都文化博物館

発行日：2005年2月2日

制作・印刷：日本写真印刷（株）

体裁：A4判、222ページ

編集担当：南 博史・植山 茂

◇『京都府美術工芸新鋭選抜展～2005 新しい波～

編集・発行：京都府・京都府京都文化博物館

発行日：2005年1月4日

制作・印刷：（株）ニューカラー写真印刷

体裁：タテ25cm×ヨコ21cm、53ページ

※各書の奥付に発行日のないものは、その展覧会の
開始月を挙げた。



「近世京都の狩野派展」ちらし



「古代エジプト文明 3000 年の世界
展」ちらし

5-2 講演会・音楽会

(1) 講演会など

開催年月日	講 師	所 属 等	演 題・テーマ	備 考
2004. 4.17	南 博史	当館主任学芸員	漆塗	歴史常設展展示解説
4.17	山下 裕二	明治学院大学教授	白隠は漢いんだぞー禅画と日本美術史	「白隠 禅と書画」展講演会
5. 1	森 清範	北法相宗清水寺賛主	色 郎	「白隠 禅と書画」展講演会
5. 8	土橋 誠	当館主任学芸員	葵祭	歴史常設展展示解説
6.19	小島 正孝	小島資料館館長	新選組と多摩	「新選組」展講演会
6.26	植山 茂	当館主任学芸員	中世京都の暮らし	歴史常設展展示解説
7. 3	木村幸比古	霊山歴史館学芸課長	今日における新選組	「新選組」展講演会
7.10	大塚 活美	当館学芸員	幕末の京都	歴史常設展展示解説（新選組展関連企画）
8. 1	内山 武夫	京都国立近代美術館館長	京都の日本画	「日本画『京の今日』展」講演会
8. 1	内山武夫・ 高階秀爾・ 上村淳之・ 森田りえ子他	京都国立近代美術館館長・ 東大名誉教授・日本画家他	日本画の現在	「日本画『京の今日』展」シンポジウム
8. 8	芦田 裕昭 他	出品者5名		「日本画『京の今日』展」ギャラリートーク
8.14	岩澤 重夫 他	出品者5名		「日本画『京の今日』展」ギャラリートーク
8.14	宇佐美直秀	宇佐美松鶴堂当主	表装	歴史常設展展示解説
8.22	中路 融人	出品者5名		「日本画『京の今日』展」ギャラリートーク
8.28	岩倉 寿 他	出品者6名		「日本画『京の今日』展」ギャラリートーク
9.18	植山 茂	当館学芸員	京の鏡造り	歴史常設展展示解説
9.25	野口 剛	当館学芸員		「近世京都の狩野派展」ギャラリートーク
10. 1	野口 剛	当館学芸員		「近世京都の狩野派展」ギャラリートーク
10. 9	野口 剛	当館学芸員		「近世京都の狩野派展」ギャラリートーク
10.11	佐々木丞平 佐々木正子	京都大学教授 日本画家	狩野派における伝統と革新	「近世京都の狩野派展」講演会
10.15	野口 剛	当館学芸員		「近世京都の狩野派展」ギャラリートーク
10.16	土橋 誠	当館学芸員	源氏物語に見える王朝文学	歴史常設展展示解説
11.13	吉井 秀夫	京都大学助教授	百済からみた日本の古墳文化	「秘められた黄金の世紀」展講演会
11.27	吉原 英雄	画家・版画家	西の版画の独自性	京都の美術工芸展：関西現代版画の 開拓者と新世代たちの「版画の力」 （国際版画シンポジウムMissa Japan 京都会議）シンポジウム
	黒崎 彰	版画家		
	三木 哲夫	国立新美術館設立準備室副室長		
	出品者25名			
11.27	鈴木 忠司	当館主任学芸員	埋納銭	歴史常設展展示解説
12.14	土橋 誠	当館学芸員	仮名手本忠臣蔵の世界	歴史常設展展示解説
2005. 1.29	大塚 活美	当館学芸員	江戸時代の京の道	歴史常設展展示解説
2. 5	山花 京子	東海大学講師	古代エジプトの死、再生、王権、神	「古代エジプト文明3000年の世界」展講演会
2. 5	佐々木もと子	池大雅美術館長	池大雅一その生涯をおって	「池大雅と京都府所蔵の日本画・洋画・書」展ギャラリートーク
2. 6	山花 京子	東海大学講師	展示会の見どころ	「古代エジプト文明3000年の世界」展講演会
2.12	菊川 匡	菊川コレクションオーナー	古代エジプト美術の変遷と収集のおもしろさ	「古代エジプト文明3000年の世界」展講演会
2.12	南 博史	当館主任学芸員	展示案内	「古代エジプト文明3000年の世界」展ギャラリートーク
2.19	大城 道則	駒沢大学専任講師	古代エジプト文化と地中海世界	「古代エジプト文明3000年の世界」展講演会
2.19	小山 雅人	京都府埋蔵文化財調査センター	古代エジプト象形文字の世界	「古代エジプト文明3000年の世界」展ギャラリートーク
2.20	南 博史	当館主任学芸員	エジプト・アクリス遺跡の発掘調査と出土遺物	歴史常設展展示解説（古代エジプト 文明3000年の世界展関連企画）
2.26	南 博史	当館主任学芸員	展覧会を通して見る古代エジプト3000年の世界	「古代エジプト文明3000年の世界」展講演会
2.26	宮本 純二	京都橘女子大学講師	トゥットモセ3世とハトシェプスト	「古代エジプト文明3000年の世界」展ギャラリートーク
3. 5	鈴木まどか	倉敷芸術科学大学教授	古代エジプトの形と色 ーエジプト美術を解読する	「古代エジプト文明3000年の世界」展講演会
3. 5	西田 恭子	アंक・ジェット会員	お墓の出来るまで	「古代エジプト文明3000年の世界」展ギャラリートーク
3.12	宮本 純二	京都橘女子大学講師	古代エジプトを掘る	「古代エジプト文明3000年の世界」展講演会
3.12	萩生田憲昭	オリエント学会会員	ナルメル王のパレットとナマズ	「古代エジプト文明3000年の世界」展ギャラリートーク
3.13	土居 泰子	アंक・ジェット会員	古代エジプト愛の歌	「古代エジプト文明3000年の世界」展ギャラリートーク
3.19	植山 茂	当館主任学芸員	平安京の鬼瓦	歴史常設展展示解説

(2) 音楽会

a. 京都文化博物館音楽会シリーズ「歴史と共に〈音楽〉を楽しむ」

主 催：京都文化博物館

後 援：京都文化博物館友の会

協 賛：吉忠株式会社

協 力：アマデウス音楽事務所

企画・解説：岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授・京都文化財団理事）

◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・XIV 音楽と舞踏

第四夜	ロマン派への胎動	2004年4月6日	111 名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演 奏	一宮明代（ピアノ）		
曲 目	ブラームス（ハンガリー歌曲集より）、ボロディン（「ダッタン人の踊り」）、チャイコフスキー（組曲「くるみ割り人形」）他		
第五夜	ショパンとヴィエニャフスキ	2004年6月17日	183 名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演 奏	田淵千代子（ピアノ）、中村太地（ヴァイオリン）		
曲 目	ヴィエニャフスキ（オベルウァスより）、ショパン（マズルカより1番・2番・3番・5番・22番・23番・21番、「ボロネーズ」第6番「英雄」）		
第六夜	ストラヴィンスキーと20世紀への奔流	2004年8月17日	97 名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演 奏	藤満健（ピアノ）		
曲 目	ラヴェル（バレエ音楽「ダフニスとクロエ」「パントマイム」）ストラヴィンスキー（バレエ音楽「春の祭典」「序曲と若い娘の踊り」ほか）		

◇歴史と共に〈音楽〉を楽しむ音楽会シリーズ・XV 優美で限りなく豊かな天才音楽家 - メンデルスゾーン -

第一夜	豊饒にして甘美なロマン—歌曲集—	2004年10月7日	134 名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演 奏	三井ツヤ子（メゾソプラノ）・平野佳恵（ソプラノ）・塚本知香（ソプラノ）・門田直子（ピアノ）		
曲 目	最初のすみれ・秋の歌・恋する女の手紙・その他		
第二夜	ピアノは歌う—無言歌ほか	2004年12月18日	137 名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演 奏	田淵千代子（ピアノ）		
曲 目	厳格なる変奏曲二短調・無言歌 No.1、3、18、26、29、30、32、34、35、47、48		
第三夜	二つのヴァイオリンコンチェルト—それぞれの魅力	2005年 1月13日	152 名
お 話	岩淵龍太郎（京都市立芸術大学名誉教授）		
演 奏	田島まり子（ヴァイオリン）・藤満健（ピアノ）		
曲 目	ヴァイオリン協奏曲 二短調・ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64		

b. 祇園祭協賛事業

日 時：2004年7月15日、16日

主 催：京都文化博物館

後 援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろ
うじ店舗博和会

会 場：京都文化博物館 別館ホール

演奏者：7月15日 あいのまちはうす カルテッ
ト（クラシック演奏）

オカリナ アンサンブル・Fピーンズ（オ
カリナ演奏）

イウラニ井上フラチームとフラソニック

（ハワイアン演奏）

生田流宮城会麗調会社中（箏曲演奏）

7月16日 まつちゃ（ギター弾き語り）

CHIEN（ピアノ弾き語り）

真依子（箏弾き語り）

おちあいさとこ（ピアノ弾き語り）

生田流宮城会麗調会社中（箏曲演奏）

入場者：4,041 人

* 祇園祭協賛事業として開催し、別館を午前10時～
午後8時30分まで無料公開した。

5-3 博物館実習

①第1組

実施期間：2004年8月3日～8月6日

実習生：京都府立大学5人、大阪成蹊大学1人、
京都ノートルダム女子大学1人、京都女
子大学1人

②第2組

実施期間：2004年8月24日～27日

実習生：立命館大学5人、京都造形芸術大学3人、
京都精華大学1人、京都文教大学1人、
京都女子大学1名、愛媛大学1名

③実習内容・担当者：

・博物館の概要・館内見学	—鈴木・長舟
・美術資料について	—野口
・工芸資料について	—藤本・洲鎌
・民俗資料について	—大塚
・文献資料について	—土橋
・考古資料について	—植山・南
・映像資料について	—森脇
・展示照明について	—長舟
・まとめと質疑	—全担当学芸員

5-4 その他の活動

(1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像
など多分野にわたり、現在単行本約61,100冊、逐次
刊行物約3,200タイトル(70,000冊)を収蔵している。
中でも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約26,000冊、
展覧会図録が約9,900冊と多く、また、映画のシナ
リオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。こ
れらの図書資料については、研究目的で特に閲覧を希
望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍
の受け入れ数は、1,800件であった。

(2) 文化情報コーナー

1階の文化情報コーナーでは、京都府内を中心とす
る美術館・博物館などの文化施設から送られてくるチ
ラシやリーフレットなどを置いて、来館者が自由に持
ち帰ることができるようにするとともに、京都の伝統
行事、歴史、庭園、寺社の御利益、散歩道、コーヒー
ショップ、京の花などが検索できる「京のオススメ」
と、近畿の歴史文化についてのDVDによる動画情報
の「歴史街道—ロマンへの扉」を設置して、来館者に
情報を提供している。また、NTTの無線LANスポッ
トの設置場所にもなっている。

(3) 生涯学習ボランティア

当館の生涯学習ボランティアは、京都府長寿社会政
策室が生涯学習の振興を図るため、京都府の文化施設
にボランティアを導入するよう呼びかけ、これに応じ
て平成6年4月15日に英語ボランティア・グループ

「MOKの会」を結成した。

以後、外国人の入館者を対象に、2階常設展示（歴
史展示室）において英語によるガイドとしてサービス
を行っている。

また、「MOKの会」の行事として総会・例会・研
修会などを通じ、会員の研鑽に努め独自の活動を実施
している。

◇2004年度の役員（会員数36名）

会 長：室 英子

副会長：千葉英子

副会長：伊吹真由美（敬称略）

◇2004年度の活動

2004年4月12日 2003年度総会

6月12日 6月例会

9月11日 9月例会

9月18・19日 SKYふれあいフェスティバル2004参加

11月 6日 見学研修会（於：堀野記念館）



「MOKの会」による英語解説ボランティア活動風景
（2階歴史常設展示場）

11月17日 京都府生涯学習文化施設ボランティア連絡会「第7回学習のひろば」参加（於：京都府立植物園）

2005年1月8日 1月例会

2月21日 控え室移転（別館1階→本館1階へ）

3月12日 3月例会 2005年度役員選出

会 長：今井嘉夫

副会長：津田恵都子

副会長：浜田千鶴子（敬称略）

（4）京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

1、会員の特典

- ・会員証で常設展（映画鑑賞を含む）、特別展の無料での観覧
- ・会員同伴者5人以内を限度として1人20%の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・毎月、博物館の催事情報や各種行事案内の送付
- ・博物館発行出版物の割引

2、会費

- ・個人会員 年会費 6000円
- ・グループ会員（2名以上）

年会費 5000円（1人）

3、2004年の状況

会員総数：741名（個人536名、グループ205名）

◇見学会

第1回 2004年6月16日

見学先 実相院（左京区岩倉）

説明者 岩谷千寿子（実相院）

野口 剛（文化博物館学芸員）

参加者 55名

第2回 2004年11月11日

見学先 醍醐寺三宝院（襖絵）

説明者 浜田 泰介（日本画家）

参加者 43名

◇文化講座

第1回 2004年7月7日（新選組！展）



2004年11月11日「友の会」見学会（醍醐寺三宝院襖絵）

場 所 別館講義室及び4階特別展会場

参加者 26名

講 師 大塚 活美（文化博物館学芸員）

◇その他（文化財保護基金室との共催活動）

第78回文化財研修講座に友の会会員参加を呼びかけ

日 時 2005年1月20日（大徳寺及び玉林院）

2005年2月15日（相国寺）

（5）地域との連携

1「まちなかを歩く日」への参加と協力

地域住民・団体が中心となってすすめている「歩いて暮らせるまちづくり推進会議」（2000年7月設立）が、活動趣旨の啓発と普及を図るために地域全体で開催する「まちなかを歩く日」のイベント（11月13・14日）に、当館も昨年に引き続き参加した。第5回目となる今回は、「秋、まさか京の精髓、ここにあり」を活動のテーマとし、京のまちなか9学区（城巽、龍池、本能、明倫、初音、柳池、日彰、生祥、立誠）において、さまざまな活動が行われた。

当館が協力・参加した活動は以下のとおりである。

- 「イベントめぐりスタンプラリー」に対する協力
・携帯電話web版「駒札めぐり」での協力
・発着点業務など
- 学芸員トーク（14日）
土橋誠学芸員「源氏物語を語る」
植山茂主任学芸員「三条通界隈の明治建築を語る」
- 別館無料公開（14日午前10時～午後6時）
- 別館前総合情報拠点設置（13日・14日）
- ぶんぱく・おこしやすフリーマーケット（13日・14日）

高倉通に沿って館員が中心となったフリーマーケットを展開した。

f.「まちなか子ども探検隊 2004」作品展示への協力
(14日)

g.まちなか子ども探検隊主催、歩いて暮らせる
まちづくり推進会議共催
夏休み、小学校高学年を対象としたまちなか探検
隊「星のYOUびんやさん」の展示会。子どもの
目線でみたまちなかとは？探検隊の子どもが撮っ
た写真などを展示。

2「関西文化の日」事業への連携

関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会主
催の同事業に、11月20日、21日の両日協力した。常
設展を無料開放し、2日間で1213人の方々にお越し
いただいた。無料ということもあり、お客様の反応も
よく、普段博物館になじみのない方にも親しんでい
ただくことができた。

3「きものの似合うまち・京都」づくり推進事業への
協力

今年も昨年に引き続き、10月1日から12月15日

まで、同事業への協力を行った。期間中には、和服姿
の来館者が目に見えて増加し、同事業の定着と着実な
効果が感じられる。

同事業は、京都織物卸商業組合、西陣織工業組合
など5団体で構成する「きものの似合うまち・京都」
推進委員会の主催事業であり、また京都府、京都市、
京都商工会議所が共催となる官民一体の取り組みで、
2001年度から始められたものである。

当初は、着物での来館者に対する割引制度であった
が、2003年度からは、「きものパスポート」持参のき
もの着用者は無料、同伴者は20%割引と、サービス
内容が充実した。そのため利用者も増え、今年度は、
特別展への入館者は、790人、常設展への入館者は
312人であった。

また、本事業に関連して、同年度春に行われた「京
都市伝統産業の日」(京都市主催、3月11日～3月21日)
の事業にも併せて協力した。春の実施期間には、特別
展への入館者は947人、常設展への入館者は53人で
あった。



「京都きものパスポート」案内ちらし

6. ギャラリー事業

6-1 5・6階展示室

(1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、

工芸3名（染織・陶芸・漆芸各1名）、書2名（仮名・漢字各1名）、写真1名の計13名で、展示室の使用を希望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2004年度の委員会は以下のとおり開催した。

展示室委員会

委員会開催日	審議対象期間	件数
2004年 6月15日	2003年12月～2004年 3月	18
10月19日	2004年 4月～2004年 7月	17
2005年 3月 1日	2004年 8月～2004年11月	16

(2) 美術・工芸作家の利用

当館では開館以来、5階展示室に美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を原則として毎月21日から月末の前日までと定め、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品は、絵画・彫刻・工芸・書・デザイン・

写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2004年度の利用件数は、46件であった。

①作家利用一覧

会 期	展 覧 会 名	分 野	会 期	展 覧 会 名	分 野
2004 4.21～25	日本画光玄展	日本画	10.20～24	面法会能面・狂言面展	諸工芸
4.21～25	明是栄蔵個展	洋画	10.20～24	蒼蒼展	洋画
4.21～25	新日美京都支部展	美術総合	10.20～24	平安書道会聚英展	書
4.23～25	辛酉会書展	書	10.20～24	萌葱会染色作品展	染 織
4.28～5/2	大阪芸術大学テキスタイルデザインコース作品展	染 織	10.20～24	山川章三ろうけつ染展	染 織
5.18～23	島田正治「墨で描くメキシコ」墨画展	日本画	10.27～31	創工会展	工芸総合
5.19～23	松月の会能面展	諸工芸	11.24～28	京の名工展	工芸総合
5.26～30	京都書作家協会会員展	書	12. 8～12	陳允陸作品展	日本画
5.28～30	絵更紗画林展	染織	12.14～19	高田嘉宏日本画展	日本画
6.23～27	種々展	日本画	12.15～19	帆の会展	洋 画
6.23～27	六月の会	書	12.15～19	久合田修個展	洋 画
7.21～25	アートサイト京都成安造形大学選抜展	美術総合	2005. 1.18～23	多彩な響き-大村コレクションより-	美術総合
7.28～8/1	草々会展	日本画	1.26～30	汎異家会友と受賞作家展	洋画
7.28～8/1	染・四君子の会展	染 織	1.26～30	北村正己個展	日本画
7.28～8/1	六轡会篆刻作品展	書	1.27～30	京都現代書芸展	書
8.11～15	台湾當代墨彩画巨匠展・国立台湾芸術大学書画芸術交流展	日本画	2.18～20	京都鳴女子大学日本語日本文学科書道コース・大学院文学研究科言語文化専攻卒業制作展	書
8.25～29	土から陶への造形展Part1-美濃	陶芸	2.25～27	水明選抜書展	書
8.25～29	ファインド・アイ現代文人光画展	写真	3.18～20	島田雨城自詠歌書展	書
9.22～26	DAYTON・京都国際版画交流展	洋画	3.17～21	あまがつ会人形展	諸工芸
9.22～26	光風工芸「明日へのかたち」展	工芸総合	3.17～21	井生展	日本画
9.22～26	書の会「躍」展	書	3.17～21	面匡会京都能面展	諸工芸
9.22～26	京都ユネスコ協会美術工芸展	美術総合	3.18～21	かのうたかお展	陶芸
			3.23～27	面風齋能面・狂言面	諸工芸
			3.23～27	辛酉会書展	書
			計 46件 (104日間) 39,319人		

②作家利用分野別入場者状況

	美 術						工 芸				美 術	総 計
	日本画	洋 画	書	写 真	彫 刻	美術総合	染 織	陶 芸	諸工芸	工芸総合	工 芸	
使用件数	9	6	11	1	0	2	5	2	5	3	2	46
割合 (%)	20%	13%	24%	2%	0%	4%	11%	4%	11%	7%	4%	100%
入場者数	6,696	3,970	8,873	1,217	0	3,271	2,479	926	4,265	6,040	1,582	39,319
1 件平均入場者数	744	662	807	1,217	0	1,636	496	0	853	2,013	791	855

(3) 生涯学習的発表期間の利用

1998 年より、5 階・6 階各展示室に生涯学習的発表
期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に準ずる

利用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者
の指導するグループの発表期間を設けたものである。

①生涯学習的発表の利用一覧

会 期	展 覧 会 名	分 野	入場者数
5 階			
2004. 4. 8～ 4.11	傘寿記念 堤雅鳳書展	書	707
4.14～ 4.18	ブベドル創作陶磁器人形展	諸工芸	1,262
4.14～ 4.18	行待糸子展	日本画	870
4.14～ 4.18	一線美術会選抜展	洋画	623
5. 7～ 5. 9	第13回ふしぎな花倶楽部押花アート展	諸工芸	1,222
6.15～ 6.20	第22回 上野の森美術館大賞展関西展	洋画	1,517
9. 9～ 9.12	和紙ちぎり絵ひまわり第18回京都展	諸工芸	753
9. 9～ 9.12	栄美子戸田ローブとニューゼファーズキルト展	諸工芸	1,162
9. 9～ 9.12	油絵とデコパージュのふたり展	洋画	750
9.17～ 9.19	京都とっておきの芸術祭	(美術) 総合	1,308
10. 8～10.11	第21回産経国際書展関西展	書	1,107
10.14～10.17	細川流盆石景作品展	諸工芸	569
10.14～10.17	第16回早蕨会書展	書	709
11. 4～11. 7	キルトハウスあんだんて 第8回パッチワークキルト作品展	諸工芸	3,860
11. 4～11. 7	第10回アトリエピンク10周年記念合同作品展	諸工芸	888
11.25～11.28	天道写真塾読売ばるる教室作品展	写真	746
12. 9～12.12	第15回雪秀会能面展	諸工芸	332
12. 9～12.12	プロムナード・美 四人展	(美術) 総合	459
2005. 1. 7～ 1.10	大藪沙羅書芸教室新春書芸展	書	1,610
2. 3～ 2. 6	第16回森小夜子人形教室展	諸工芸	2,503
2.10～ 2.13	京都伝統工芸専門学校第9回卒業記念作品展	(工芸) 総合	2,766
3. 4～ 3. 6	第18回全国シルバー書道展京都展	書	1,138
3. 9～ 3.13	スコネクラブ北欧の刺繍展	諸工芸	1,193
3. 9～ 3.13	フォトクラブアースポケット写真展 ぶ・ら・り京都2004	写真	563
3.10～ 3.13	第22回 桃天会日本画展	日本画	557
3.29	経済産業省繊維事業自立支援制作発表会	染織/染色	170
計 26件 使用日数：100日			29,344

	会 期	展 覧 会 名	分 野	入 場 者 数
6 階	4.17	平成16年染織光悦會展	染織／染色	394
	4.23～ 5. 5	土田早苗・人形達ときもの「四季に遊ぶ」展	諸工芸	1,739
	5. 9	体験学習[京舞]	その他	65
	5.11	体験学習[京舞]	その他	56
	5.13	体験学習[京舞]	その他	117
	6. 4～ 6. 6	アトリエラルジャン飾金教室展	諸工芸	577
	6.26～27	五風会篆刻作品展	書	354
	7. 4	あねさん亭文博寄席[落語会]	その他	100
	7.30～ 8. 1	(財)片山家能楽保存財団 第8回 能装束・能面展	(工芸)総合	1,351
	9. 1～ 9. 2	京鹿の子絞工芸展	染織／染色	716
	9.23～ 9.26	亀末廣200年の歩み	その他	2,121
	10. 6～10. 7	第32回京都シニア大学学園文化祭	(美術)総合	583
	10.10	競技かるた講習会	その他	35
	10.23～10.24	第34回表芸展	その他	460
	10.27	体験学習[京舞]	その他	28
	10.30～11. 5	第四回「紬と織の公募展」	染織／染色	1,205
	11. 7	あねさん亭文博寄席[落語会]	その他	123
	11. 9～11.11	遊・こもん 小糸染芸	染織／染色	500
	11.13～11.14	叡山学院墨跡展	書	168
	11.13～11.14	第七回竹心展	書	362
	11.19～11.21	第42回龍門社選抜書道展	書	921
	11.25	体験学習[京舞]	その他	247
	11.27～11.28	玄穹社書展	書	250
	2005. 1.26～ 1.27	双美会展	染織／染色	527
	2.20	あねさん亭文博寄席[落語会]	その他	120
	2. 9～ 2.13	玉村 咏展	染織／染色	542
	2.23～ 2.27	藤本勝美女やまと絵作品展	日本画	810
計 27件 使用日数：71日				14,421

②生涯学習的発表の利用分野別入場者状況

		和 装	美 術							工 芸					美 術	総 計
		呉 服	日本画	洋 画	書	写 真	その他	美術 総合	小 計	染 織	陶芸・金 竹・漆	諸工芸	工 芸 総合	小 計	工 芸 総合	
5 階	件数	-	2	3	5	2	-	2	14	1	-	10	1	12	-	26
	日数	-	9	15	15	9	-	7	55	1	-	41	4	46	-	101
	人数	-	1,427	2,890	5,271	1,309	-	1,767	12,664	170	-	13,744	2,766	16,680	-	29,344
6 階	件数	-	1	-	5	-	11	1	18	6	-	2	1	9	-	27
	日数	-	5	-	11	-	15	3	34	19	-	15	3	37	-	71
	人数	-	810	-	2,005	-	3,472	583	6,870	3,884	-	2,316	1,351	7,551	-	14,421

※6階「その他」は体験学習、落語会等。

(4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展覧会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

6-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店（重要文化財）の営業室であった別館のホールは、通常は常設展示の一貫として公開しており、明治時代の代表的な洋風近代建築の内部が鑑賞できるが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式やレセプション、音楽

一般利用

		和装 呉服	染織	美術	工芸	その他	計
5階	件数	7	0	3	4	1	15
	日数	21	0	9	15	3	48
6階	件数	12	0	0	0	0	12
	日数	37	0	0	0	0	37

*美術：日本画、洋画、書、写真など

*工芸：陶芸、金工、竹工、漆芸、諸工芸など

会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会などの利用にも提供している。

平成17年1月～3月、京都文化博物館にぎわい創出事業による改修工事に入り別館ホールのギャラリー機能の充実が図られることとなった。

①利用状況

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
2004. 4. 4	パッサアカデミー関西 教会暦によるカンタータ	8.26～27	京都市立芸術大学音楽学部公開練習
4.18	京都 C. モンテヴェルディ合唱団定期演奏会	8.29	アマデウスマイコンサート '04
4.29	Jazz at the Sanjo Bunka Museum	9. 3～ 5	アトリエエンジェル ステンドグラス作品展
5. 9	京都フランス歌曲協会クレールコンサート	9. 9	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会
5.11	NPO 法人京都ヴェルディ協会講演会	9.10	風来音「たまゆら」～玉響～和楽コンサート
6. 3	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会	9.12	グループ Lydia コンサート
6.11～13	ろうじの古本市	9.19～25	京都映画祭
6.18	栗崎ヴォーカルスタジオ ミュージアム発表会	10. 2	オカリナアンサンブル ファイブピースズオータムコンサート
6.23	埼玉県春日部市立雲春中学校合唱講習会	10. 3	紫苑の会 Harvest Time Concert
6.26～27	Kyoto 建築士 2004	10. 9	ザ・モストリーピアノデュオライブ 5
7. 4	ようこそクラシックコンサートへ	10.10	アマデウス・ミュージックライブラリー 4
7.11	京都の驕を語る女性の会 おがたまのコンサート	10.21	日本電信電話ユーザー協会講演会
7.18	川村結花ライブ	11. 7	加嶋祥造トーク&上映会
7.25	フェリックス室内合奏団定期演奏会	11.16	日本銀行京都支店講演会
8. 7	ヴォーカルアンサンブル Accessoir リサイタル	12.12	京都室内合唱団クリスマスコンサート
8. 8	プレイエルで聴くショパンの夕べ	12.16	京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会
		入場者数 計 20,794 人	

7. 管理・運営

7-1 経営・企画委員会

平成16年8月11日の第1回「経営・企画委員会」の開催以来、博物館の活性化へ向けての取り組みがいよいよ本格的に始動した。「経営・企画委員会」内には、

「中長期展望・常設展・IT」「マネージメント・特別展情報収集等」「別館活用」に関する小委員会が設けられ、活発な議論が交わされた。

京都文化博物館 経営・企画委員会等開催状況一覧

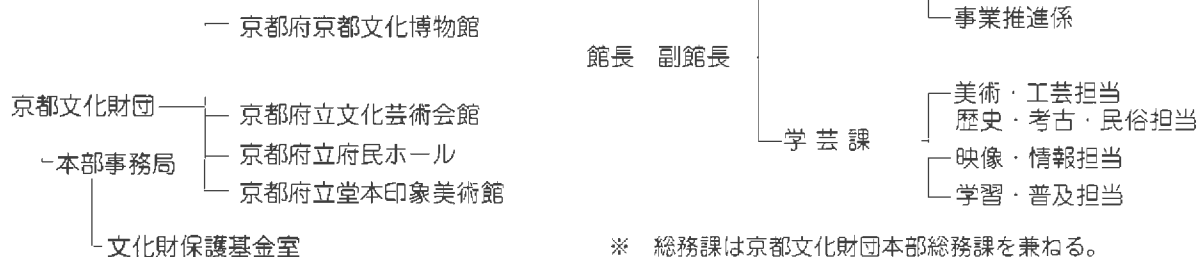
年 月 日	委員会/小委員会	検 討 事 項
平成16年 8月11日	第1回経営・企画委員会	・「京都文化博物館活性化提言」の概要 ・調査検討事項およびスケジュール案 ・別館活用方策、にぎわい創出事業プロポーザル ・常設展見直し、IT活用による博物館機能の充実
9月15日	別館活用小委員会①	・別館ホール活用コンセプト ・本館への動線と展示室の運用 ・大型ディスプレイの導入等（情報発信）
10月 7日	中長期展望・常設展・IT小委員会①	・博物館の中期展望 ・常設展のあり方 ・IT活用による博物館機能の充実
11月 2日	第2回経営・企画委員会	・中期展望、目標設定による事業運営等 ・常設展などの展示のあり方 ・IT活用による博物館機能の充実
12月16日	マネージメント・特別展情報収集等小委員会①	・博物館のマネージメント（目標管理等） ・常設展料金等料金体系の見直し ・特別展情報の収集
12月28日	別館活用小委員会②	・にぎわい創出事業の具体的な方向
平成17年 1月12日	別館活用小委員会③	・別館事業計画のソフト面
2月 2日	別館活用小委員会④	・別館事業計画のソフト面

経営・企画委員会委員

委 員 名	現 職
赤間 亮	立命館大学アート・リサーチセンター副センター長
小田 靖弘	（株）ネットワークプレーン代表取締役
（副座長）河合 満朗	（株）シー・ディー・アイ取締役主任研究員
下田 元美	京都府文化芸術室長
中村伊知哉	コンサルティングフェロー、スタンフォード日本センター研究所長
西村 恭子	美術プロデューサー
原野 聡	電通パブリックリレーションズ（東京）メディア・リレーションズ部ディレクター
安田 徹	中小企業診断協会京都支部長
（座 長）山本 壯太	NHK大阪文化センター取締役総支社長
渡辺 敏幸	新風館館長

7-2 組織と職員

(1) 組 織



※ 総務課は京都文化財団本部総務課を兼ねる。

(2) 京都文化財団役員

2005年(平成17年)3月31日現在

職名	氏名	所 属 等		職名	氏名	所 属 等	
顧問	林田悠紀夫	元京都府知事		理事	田中 恒清	石清水八幡宮宮司	
	山田 啓二	京都府知事			角田 文衛	古代学協会理事長	
	岡本 道雄	京都大学名誉教授、前京都文化財団理事長			堂本 元次	日本画家	
理事長	荒巻 禎一	前京都府知事、京都文化博物館館長			西村 恭子	美術プロデューサー	
副理事長	千 玄室	前茶道裏千家家元			野中 信夫	NPO MCE 専務理事	*
	麻生 純	京都府副知事			福知 正温	京都府社会教育委員連絡協議会会長	*
常務理事	安井 恒夫	京都文化博物館副館長			藤田 哲也	京都府教育委員会委員長	
理事	有馬 頼底	相国寺管長	*		増田 正蔵	京都新聞社代表取締役会長兼社長	*
	池坊 由紀	華道家元池坊次期家元	*		村井 康彦	京都市美術館館長	
	今井 政之	陶芸家	*		村田 純一	京都商工会議所会頭	
	井上八千代	京舞井上流家元	*		山本 壯太	NHK大阪文化センター取締役総支社長	
	岩淵龍太郎	京都市立芸術大学名誉教授			下田 元美	京都府府民労働部文化芸術室長	
	門脇 禎二	京都府立大学名誉教授		監事	岡田 博邦	京都銀行協会専務理事	
	神林 恒道	立命館大学アート・リサーチセンター長	*		奥田登志男	京都府出納管理局長	*
	芝田 米三	洋画家					

*印：2004年6月26日就任

(3) 京都文化博物館職員

2005年(平成17年)3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担当業務	備 考
総務課	館長	荒巻 禎一	館総括	財団理事長
	副館長	安井 恒夫	館業務総括	財団常務理事・事務局長
	課長・事業推進係長事務取扱	藤井 貢	課総括	財団本部事務局兼務 2004.5～
	参事・総務係長事務取扱	金田 曉	総務係	財団本部事務局兼務
	主幹・経理係長事務取扱	丹新 正雄	経理係	財団本部事務局兼務
	主任	森木 礼子	経理係	財団本部事務局兼務
	主事	佐藤 幸央	総務係	財団本部事務局兼務
	主事	海老名和孝	総務係	財団本部事務局兼務
	参事・文化財保護基金室長事務取扱	矢野 治彌	総務課兼務	財団本部事務局文化財保護基金室
	主査	中北 好侖	事業推進係	2004.5～
	主事	磯野真知子	事業推進係	
	主事	森 雅樹	事業推進係	
	主事	市川 彰	事業推進係	2004.5～
学芸課	課長	山本 俊介	課総括	
	参事(主任学芸員)	鈴木 忠司	歴史担当	
	主任学芸員	植山 茂	歴史担当	
	主任学芸員	南 博史	歴史担当	
	学芸員(専門員)	土橋 誠	歴史・文献担当	
	学芸員(主任)	大塚 活美	歴史・民俗担当	
	学芸員(主任)	藤本 恵子	工芸担当	
	学芸員	長舟 洋司	美術担当	
	学芸員	洲鎌佐智子	工芸担当	
	学芸員	野口 剛	美術担当	
	主幹・映像情報室長事務取扱	井上 文夫	映像・情報担当	
	学芸員(主任)	森脇 清隆	映像・情報担当	
	嘱託	青木 完一	映像	非常勤

7-3 施設

(1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町 623-1

設計：京都府土木建築部営繕課・(株) 久米建築
事務所

施工期間：1986 年 10 月～1988 年 9 月

敷地面積：4,790.35m² (別館を含む)

建築面積：3,481.04m² (別館を含む)

延床面積：15,827.42m² (別館を含む)

本館床面積内訳：

地階 2,242.42m² / 1 階 2,265.29m²

2 階 1,853.39m² / 3 階 1,908.79m²

4 階 1,442.19m² / 5 階 1,442.19m²

6 階 1,218.28m² / 7 階 1,010.43m²

塔屋 182.88m²

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 / 一部鉄骨造

(2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町
48 番地

設計：辰野金吾・長野宇平治

施工期間：1903 (明治 36) 年 9 月 ～ 1906 (明治
39) 年 6 月

延床面積：2,261.56m²

別館構造：建築面積 - 819.67m²

煉瓦造、2 階建一部地下 1 階

スレート・銅板葺、両翼塔屋付

旧金庫構造：建築面積 - 187.10m²

煉瓦造、1 階建、棧瓦葺

指定：重要文化財

指定名称 - 旧日本銀行京都支店

指定年月日 - 1969 年 3 月 12 日

指定書番号 - 建第 1,708 号

7-4 ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は当館 1 階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には京料理などの飲食店、内側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店でつくる「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。

本年度のろうじ店舗利用者は 167,028 人であった。

① ろうじ店舗一覧

◇紙の店 - 楽紙館

◇京しゅみ - 弧軒

◇京のエッセンス 18 舗名店会 (順不同)

薫香 - 松栄堂

京麩 - 半兵衛麩

念珠 - 福永念珠舗

京菓子 - 鼓月

京佃煮 - 野村

宇治茶 - 福寿園

京扇子 - とくの

京象嵌 - 川人象嵌

八つ橋 - 井筒八ツ橋

京の雅 - 古澤仙壽堂

京小間物 - 光悦

京栗菓匠 - 若菜屋

京風雅便箋 - 表現社

化粧小物 - 左り馬

縮緬小物 - くろちく

京つけもの - 西利

竹の匠 - 高野竹工

京菓子 - 七條甘春堂 (平成 16 年 9 月退店)

◇もち料理 - きた村 (平成 16 年 8 月退店)

◇手打ちそば・蕎麦料理 - 有喜屋

◇豆腐料理 - 有福

◇エスプレッソコーヒーの店 - コロラドコーヒー

◇織屋直販店 - ショップ西陣 (順不同)

風呂敷 - 上羽機業

絹のれん - 渡文

バッグ - 小森織物

ネクタイ - 段下二郎

綴れグッズ - 暁山織物

テーブルクロス - 瀬川工芸織物

◇珈琲サロン (別館) - 阿蘭陀館

◇ミュージアムショップ (3 階) - 便利堂

② 博和会・ろうじ行事

2004 年 4 月 18 日～20 日 ブペドル人形展

4 月 23 日～5 月 7 日 京都府立図書館子
ども読書絵てがみ
コンテスト

5 月 14 日～16 日 ろうじ呉美の市

7 月 15 日～16 日 京扇子とくの

9 月 17 日～20 日 ろうじ呉美の市

11月4日～7日	キルトハウスあんだんて展	2005年	2月23日～25日	高倉小学校卒業生 け花展
11月12日～14日	ろうじ呉美の市		3月5日～6日	池坊華道会生け花展
11月19日～23日	ろうじ古本市		3月18日～21日	ろうじ呉美の市

ろうじ店舗東側通路の利用状況（平成16年度）

区 分	名 称	月 日
博和会行事	呉美の市	H16年 5月14日～16日
	呉美の市	9月17日～20日
	呉美の市	11月12日～14日
	呉美の市	H17年 3月18日～21日
	古本市	H16年11月19日～23日
地域活用	京都府立図書館子ども絵手紙コンテスト	H16年 4月23日～ 5月 8日
	高倉小学校卒業生け花展	H17年 2月23日～25日
	池坊華道会生け花展	3月 5日～ 6日
	[とうりゃんせ]	
	ブペドール人形展	H16年 4月18日～20日
	京扇子とくの	7月15日～16日
	キルトハウスあんだんて展	11月 4日～ 7日

8. 2004 年度のあゆみ

※事項欄の「MH」は映像ホール、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室、「AE」は別館東室の略

月 日	事 項	月 日	事 項
2004		10月11日	「近世京都の狩野派展」講演会（佐々木氏）
4月17日	歴史常設展展示解説（南／3F）	10月13日	歴史特別陳列「源氏物語に見える王朝文学」（～11月14日）
4月17日	「白隠 禅と書画」展講演会（山下氏／AH）	10月15日	「近世京都の狩野派展」ギャラリートーク（4階・3階会場内 野口 剛）
5月 1日	「白隠 禅と書画」展講演会（森氏／AH）	10月16日	歴史常設展展示解説（土橋／2F）
5月 8日	歴史常設展展示解説（土橋氏／2F）	11月 6日	京都の美術・工芸展 関西現代版画の開拓者と新世代たちの「版画の力」（～12月15日）
6月19日	「新選組」展講演会（小島氏／AH）	11月 6日	「秘められた黄金の世紀展—百済武寧王と倭の王たち—」展（～12月15日）
6月26日	歴史常設展展示解説（植山／2F）	11月 6日	「MOKの会」 見学研修会（於：堀野記念館）
7月 3日	「新選組」展講演会（木村氏／AH）	11月12日	ろうじ呉美の市（～14日）
7月 7日	歴史常設展展示解説（大塚／2F）	11月13日	「まちなかを歩く日」（～11月14日）
7月 7日	友の会文化講座 第1回 「新選組！展」（大塚／AL）	11月13日	「秘められた黄金の世紀展」講演会（吉井氏／AH）
7月10日	歴史常設展展示解説（大塚／2F）	11月20日	「関西文化の日」（～21日）
7月13日	歴史特別陳列「京の鏡造り」（～10月11日）	11月16日	歴史特別陳列「仮名手本忠臣蔵の世界」（～12月19日）
7月15日	京扇子とくもの（ろうじ／～16日）	11月17日	「MOKの会」 京都府生涯学習文化施設ボランティア連絡会「第7回学習のひろば」参加（於：京都府立植物園）
7月15日	祇園祭協賛音楽会（～16日／AH）	11月19日	ろうじの古本市（～23日）
7月30日	日本画「京の今日」展（～9月5日）	11月27日	シンポジウム：「西の版画の独自性」
8月 1日	日本画「京の今日」展講演会（内山氏／AH）	11月27日	歴史常設展展示解説（鈴木／2F）
8月 1日	日本画「京の今日」シンポジウム（内山、高階、上村、森田ほか／AH）	12月14日	歴史常設展展示解説（土橋／2F）
8月 3日	博物館実習 第1組（～8月6日）	12月18日	京都の美術・工芸展 池大雅と京都府所蔵の日本画・洋画・書（～2005年2月13日）
8月 8日	「日本画「京の今日」展」ギャラリー	12月21日	歴史特別陳列「泥絵にみる幕末の日本」（～2005年1月16日）
8月 8日	「日本画「京の今日」展」ギャラリートーク（芦田、池田、烏頭尾、大塚、土手／4階特別展示室・3階美術工芸展示室）	2005 年	
8月14日	「日本画「京の今日」展」ギャラリートーク（岩沢、岡村、川島、國府、佐々木／4階特別展示室・3階美術工芸展示室）	1月 4日	京都府美術工芸新鋭選抜展～2005 新しい波～（～1月19日）
8月14日	歴史常設展展示解説（宇佐見氏／2F）	1月 8日	「MOKの会」 1月例会
8月22日	「日本画「京の今日」展」ギャラリートーク（中路、西久松、箱崎、濱田、堀本／4階特別展示室・3階美術工芸展示室）	1月18日	歴史特別陳列「街道資料と広重の東海道五十三次」（～2月6日）
8月24日	博物館実習 第2組（～27日）	1月29日	歴史常設展展示解説（大塚／2F）
8月28日	「日本画「京の今日」展」ギャラリートーク（岩倉、後藤、堀江、三輪、古川、和田／4階特別展示室・3階美術工芸展示室）	2月 2日	自主企画特別展「古代エジプト文明3000年の世界」開幕（～3月21日）
9月11日	「MOKの会」 9月例会	2月 2日	「古代エジプト文明3000年の世界」展開連企画 オリエンタルダンス（AH）
9月17日	ろうじ呉美の市（～20日）	2月 3日	「古代エジプト文明3000年の世界」展開連企画 オリエンタルダンス（AH）
9月18・19日	「MOKの会」 SKYふれあいフェスティバル2004 参加	2月 4日	「古代エジプト文明3000年の世界」展開連企画 オリエンタルダンス（AH）
9月18日	自主企画特別展「近世京都の狩野派展」（～10月24日）	2月 5日	「古代エジプト文明3000年の世界」展講演会（山花氏／MH）
9月18日	歴史常設展展示解説（植山／2F）	2月 6日	「古代エジプト文明3000年の世界」展ギャラリートーク（山花氏／AL、AH）
9月25日	「近世京都の狩野派展」ギャラリートーク（4階・3階会場内）		
10月 1日	「近世京都の狩野派展」ギャラリートーク（4階・3階会場内）		
10月 9日	「近世京都の狩野派展」ギャラリートーク（4階・3階会場内）		

月 日	事 項	月 日	事 項
2月 8日	歴史特別陳列「エジプト・アコリス遺跡の発掘調査と出土遺物」「古代エジプト文明 3000 年の世界」関連企画（～3月13日）	2月26日	「古代エジプト文明 3000 年の世界」展ギャラリートーク（宮本氏／AL、MH）
2月12日	「古代エジプト文明 3000 年の世界」展講演会（菊川氏／MH）	2月26日	「古代エジプト文明 3000 年の世界」展講演会（南／MH）
2月12日	「古代エジプト文明 3000 年の世界」展ギャラリートーク（南氏／AL、MH）	3月 5日	「古代エジプト文明 3001 年の世界」展講演会（鈴木氏／MH）
2月15日	京都の美術・工芸展 布帛をめぐる物語～屏風・タピストリー・きもの・人形～（～3月21日）	3月 5日	「古代エジプト文明 3000 年の世界」展ギャラリートーク（西田氏／AL、MH）
2月19日	「古代エジプト文明 3000 年の世界」展講演会（大城／MH）	3月12日	「古代エジプト文明 3000 年の世界」展ギャラリートーク（萩生田氏／AL、MH）
2月19日	「古代エジプト文明 3000 年の世界」展ギャラリートーク（小山氏／AL、MH）	3月12日	「古代エジプト文明 3000 年の世界」展講演会（宮本氏／MH）
2月20日	「古代エジプト文明 3000 年の世界」展関連企画 ベリーダンス（1階エントランス）	3月12日	「MOKの会」 3月例会 2005 年度役員選出
2月20日	歴史常設展示展示解説（南／2F）	3月13日	「古代エジプト文明 3000 年の世界」展ギャラリートーク（土居氏／AL、MH）
2月21日	「MOKの会」 控え室移転（別館1階→本館1階）	3月15日	歴史特別陳列『平安宮の鬼瓦』（～6月12日）
2月23日	高倉小学校卒業生け花展（ろうじ／～25日）	3月19日	歴史常設展示展示解説（植山／2F）

京都文化博物館 2004(平成16)年度年報

発行日 2006 年 3 月 31 日
編集・発行 京都府京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL 075-222-0888
FAX 075-222-0889
印刷 野崎印刷紙業株式会社